

Ⅱ 調査結果の分析

1 人権全般に対する意識

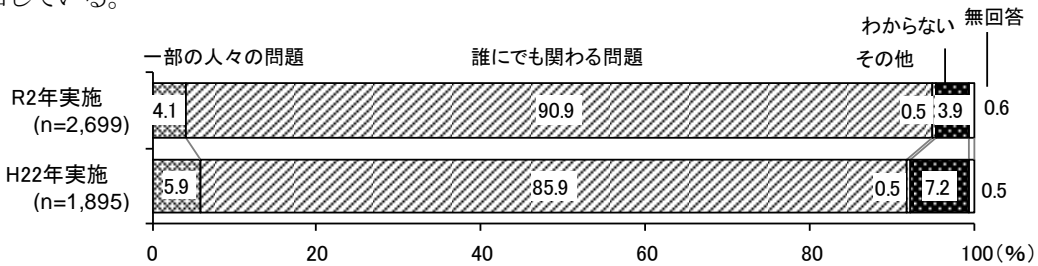
◎ 人権や人権問題についての印象は「誰にでも関わる問題」が約9割

問1. あなたは、人権や人権問題についてどのような印象をお持ちですか。(○は1つ)
 1 一部の人々の問題 2 誰にでも関わる問題 3 その他 4 わからない

【県全域／前回との比較】

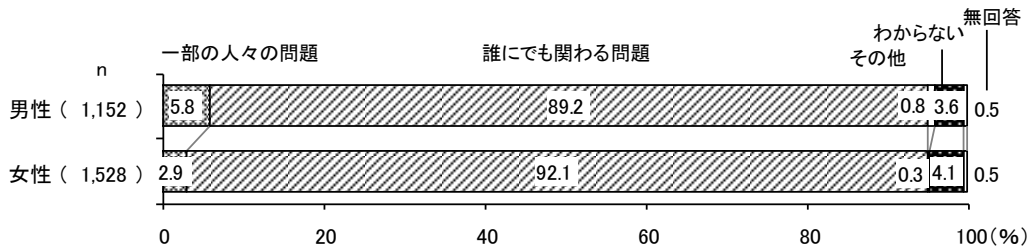
人権や人権問題についての印象は、「誰にでも関わる問題」が90.9%で最も高く、「一部の人々の問題」は4.1%となっている。

平成22年に実施した前回調査と比較して、「誰にでも関わる問題」(85.9%→90.9%)が5.0ポイント増加している。



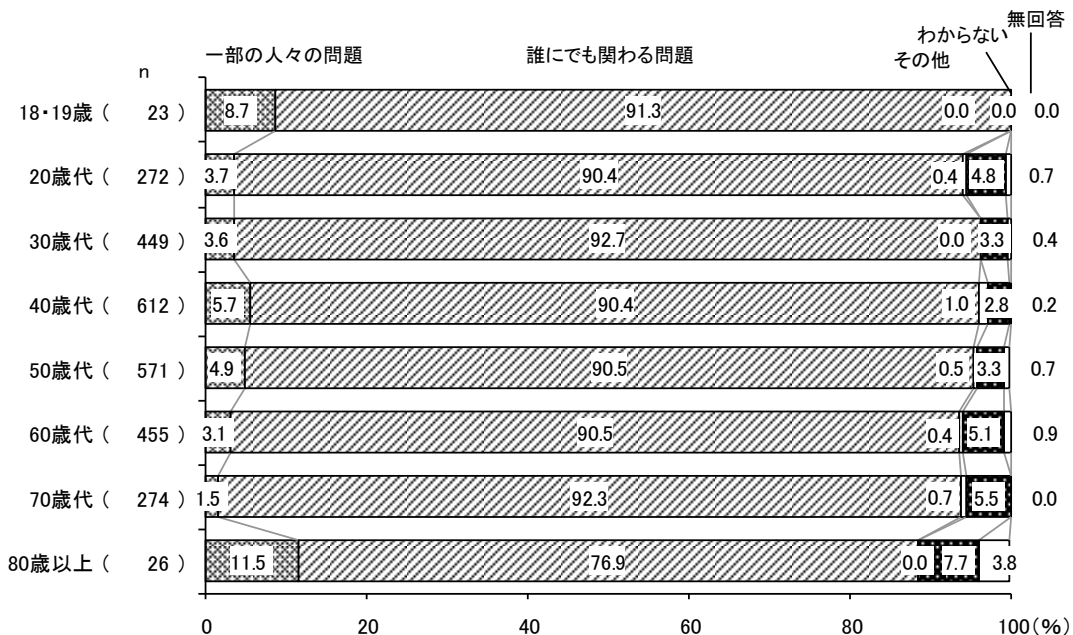
【性別】

男女ともに「誰にでも関わる問題」が高くなっている。



【年齢別】

各年代において「誰にでも関わる問題」が最も高く、特に30歳代は92.7%となっている。



◎ 人権尊重の意識は10年前に比べて過半数が《高くなっている》と感じている

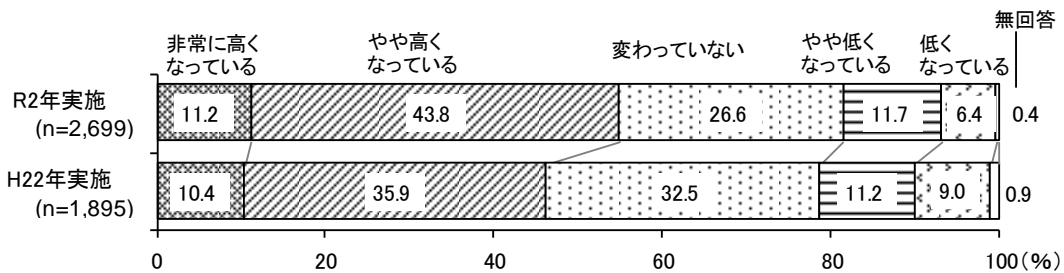
問2. あなたは、国民一人ひとりの人権尊重の意識は、10年前に比べて高くなっていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 非常に高くなっている | 4 やや低くなっている |
| 2 やや高くなっている | 5 低くなっている |
| 3 変わっていない | |

【県全域/前回との比較】

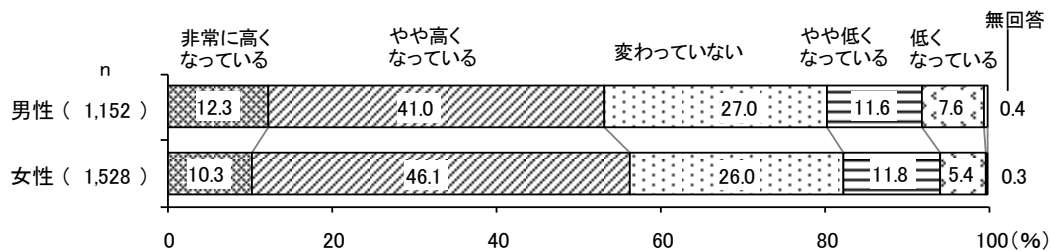
国民一人ひとりの人権尊重の意識は、10年前に比べて「やや高くなっている」が43.8%で最も高く、次いで、「変わっていない」が26.6%となっている。《高くなっている(合計)》(「非常に高くなっている」と「やや高くなっている」の合計)は55.0%となっている。

前回調査と比較して、《高くなっている(合計)》(46.3%→55.0%)が8.7ポイント増加している。



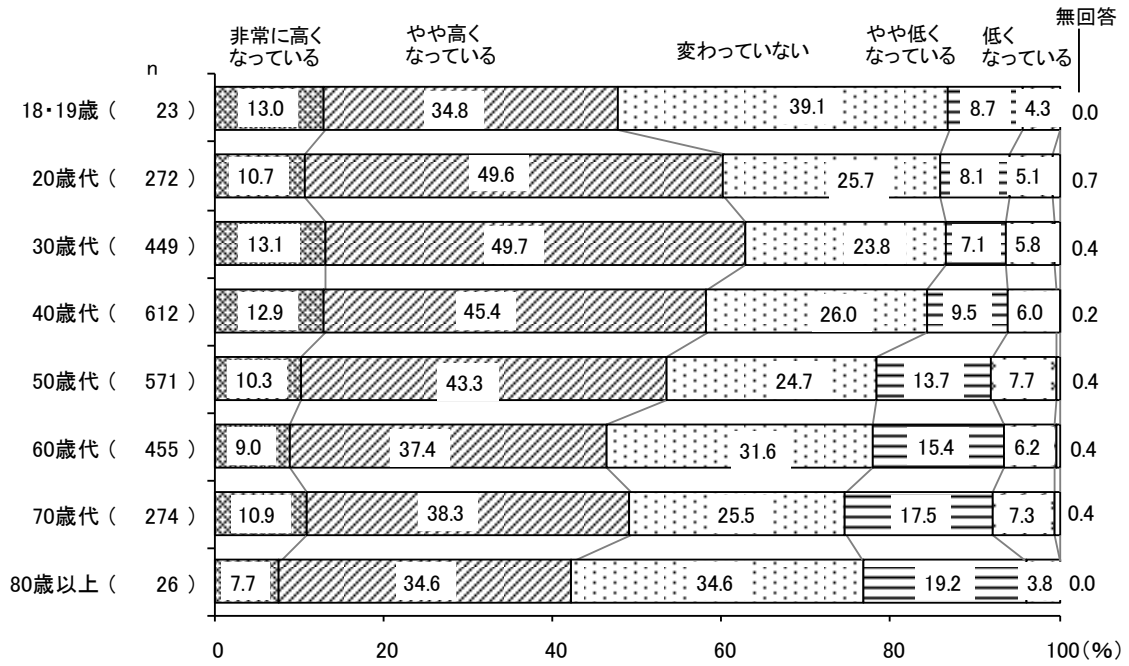
【性別】

男女間で大きな差はみられない。



【年齢別】

《高くなっている（合計）》は20歳代から50歳代で50%を超え、特に30歳代が62.8%と最も高くなっている。



◎ 人権尊重の意識が低くなっている理由は「インターネットやSNSで誹謗中傷（ひどい悪口）の書き込みをする人が増えたと思うから」が約8割と最も高くなっている

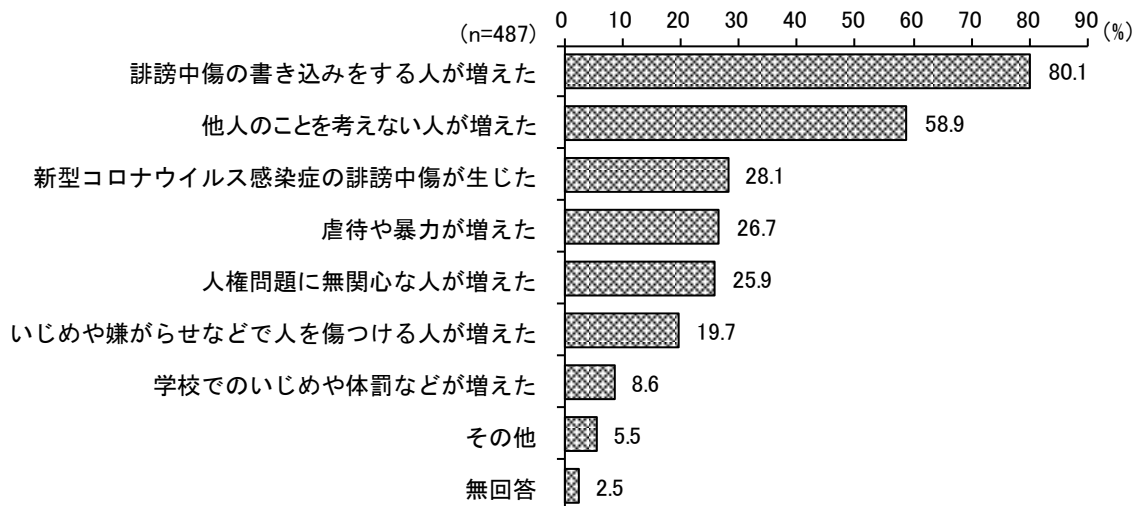
【問2で、「4 やや低くなっている」又は、「5 低くなっている」とお答えの方に引き続きおたずねします。】

問3. そう思われた理由はどのようなことですか。（〇は3つまで）

- 1 自分勝手に他人のことを考えない人が増えたと思うから
- 2 地域や職場で、いじめや嫌がらせ、うわさ話などで人を傷つける人が増えたと思うから
- 3 人権問題に関心な人や他人事であるという意識の人が増えたと思うから
- 4 インターネットやSNSで誹謗中傷（ひどい悪口）の書き込みをする人が増えたと思うから
- 5 女性、子ども、障害者、高齢者などに対する虐待や暴力が増えたと思うから
- 6 学校でのいじめや教師による体罰などが増えたと思うから
- 7 新型コロナウイルス感染症に関わる様々な差別や誹謗中傷（ひどい悪口）が生じているから
- 8 その他

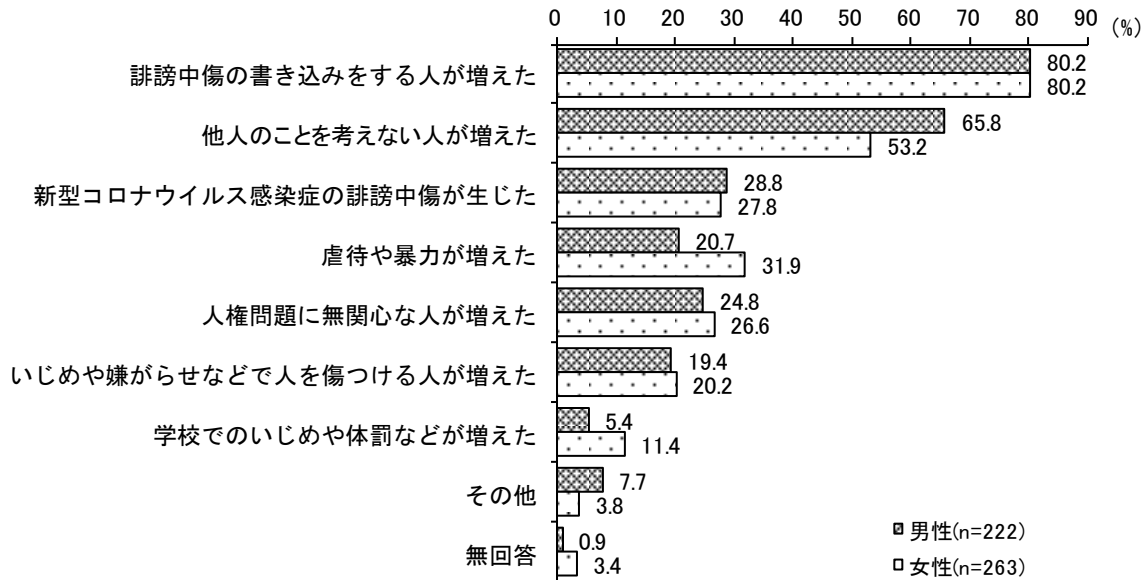
【県全域】

人権尊重の意識が低くなっていると答えた487人に理由を聞いたところ、「インターネットやSNSで誹謗中傷（ひどい悪口）の書き込みをする人が増えたと思うから」が80.1%で最も高く、次いで、「自分勝手に他人のことを考えない人が増えたと思うから」が58.9%、「新型コロナウイルス感染症に関わる様々な差別や誹謗中傷（ひどい悪口）が生じているから」が28.1%と続いている。



【性別】

男女ともに「誹謗中傷の書き込みをする人が増えた」が80%以上となっている。女性は男性よりも「女性、子ども、障害者、高齢者などに対する虐待や暴力が増えたと思うから」（女性31.9% 男性20.7%）が11.2ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「誹謗中傷の書き込みをする人が増えた」、「他人のことを考えない人が増えた」が高くなっている。

	全体 (人)	誹謗中傷の書き込みをする人が増えた	他人のことを考えない人が増えた	新型コロナウイルス感染症の誹謗中傷が生じた	虐待や暴力が増えた	人権問題に関心ない人が増えた	いじめや嫌がらせなどで人を傷つける人が増えた	学校でのいじめや体罰などが増えた	その他	無回答
18・19歳	3	100.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	36	88.9	58.3	33.3	22.2	33.3	27.8	13.9	2.8	0.0
30歳代	58	79.3	51.7	31.0	32.8	24.1	22.4	3.4	6.9	5.2
40歳代	95	81.1	54.7	32.6	12.6	27.4	21.1	4.2	7.4	1.1
50歳代	122	86.1	59.8	26.2	27.0	18.0	21.3	6.6	6.6	3.3
60歳代	98	78.6	59.2	28.6	35.7	29.6	15.3	15.3	5.1	2.0
70歳代	68	67.6	69.1	22.1	32.4	30.9	16.2	11.8	2.9	0.0
80歳以上	6	66.7	83.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7

◎ 関心の高い人権問題は、「インターネット」、「女性」、「障害者」、「新型コロナウイルス」

問4. 今の日本の社会に様々な人権問題がありますが、あなたが関心のあるものはどれですか。

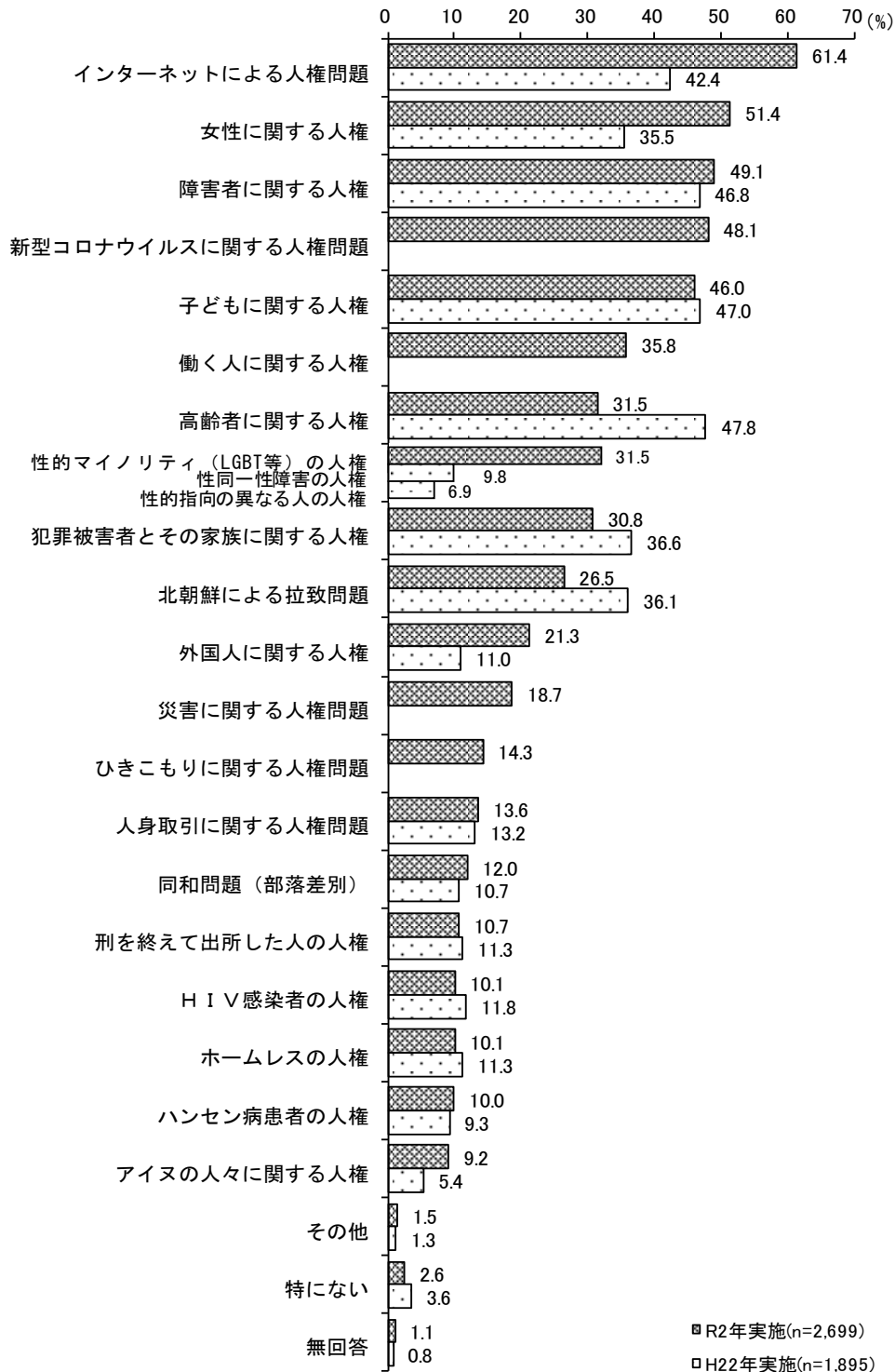
(該当するものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 女性に関する人権 | 13 インターネットによる人権問題 |
| 2 子どもに関する人権 | 14 性的マイノリティ (LGBT 等) の人権 |
| 3 高齢者に関する人権 | 15 北朝鮮による拉致問題 |
| 4 障害者に関する人権 | 16 ホームレスの人権 |
| 5 同和問題 (部落差別) | 17 災害に関する人権問題 |
| 6 アイヌの人々に関する人権 | 18 働く人に関する人権 |
| 7 外国人に関する人権 | 19 人身取引に関する人権問題 |
| 8 HIV感染者の人権 | 20 ひきこもりに関する人権問題 |
| 9 ハンセン病患者の人権 | 21 その他 |
| 10 新型コロナウイルスに関する人権問題 | 22 特にない |
| 11 犯罪被害者とその家族に関する人権 | |
| 12 刑を終えて出所した人の人権 | |

【県全域／前回との比較】

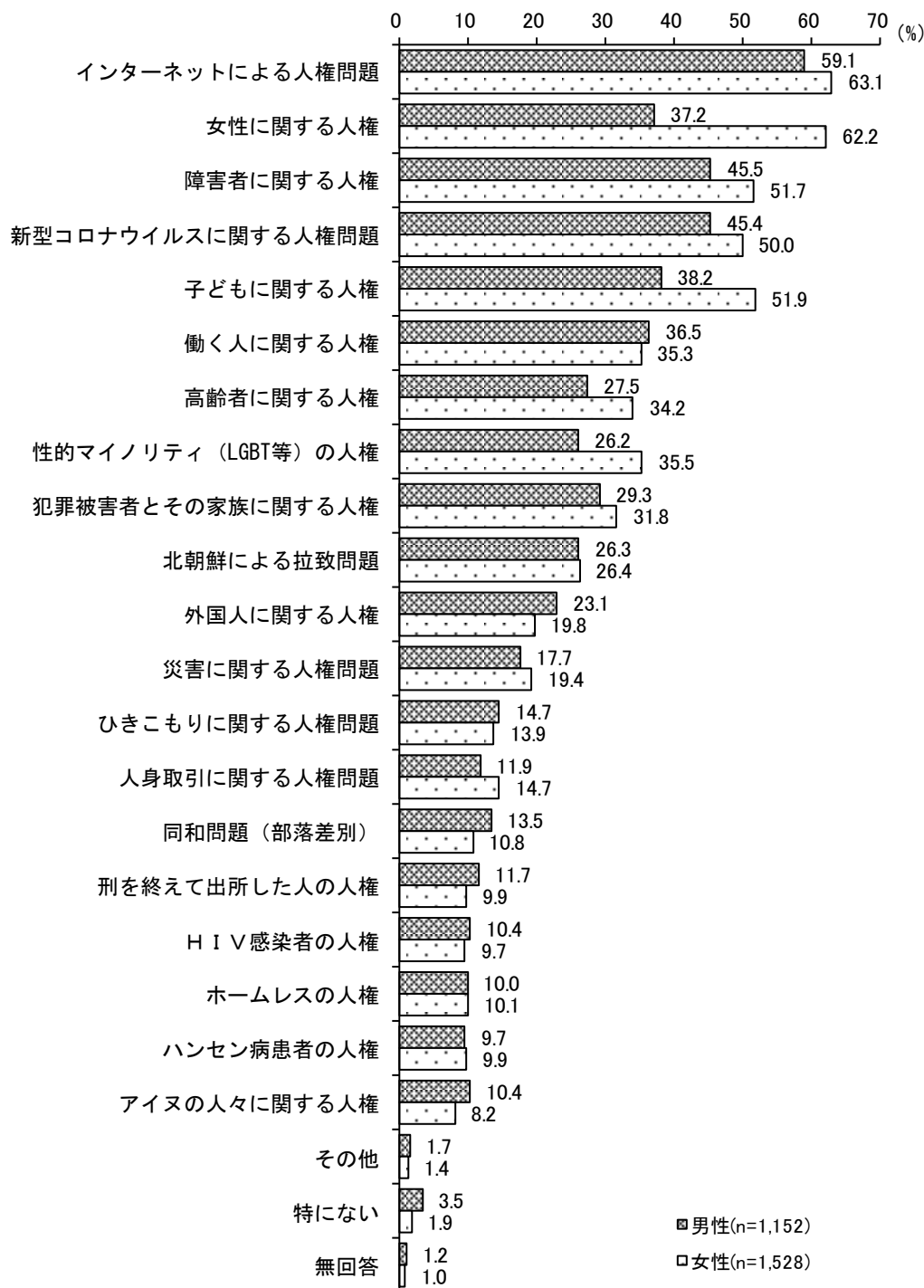
関心のある人権問題は、「インターネットによる人権問題」が 61.4%で最も高く、次いで、「女性に関する人権」が 51.4%、「障害者に関する人権」が 49.1%、「新型コロナウイルスに関する人権問題」が 48.1%と続いている。

前回調査と比較して、「インターネットによる人権問題」(42.4%→61.4%)が 19.0 ポイント、「女性に関する人権」(35.5%→51.4%)が 15.9 ポイント増加、「高齢者に関する人権」(47.8%→31.5%)が 16.3 ポイント減少している。



【性別】

女性は男性よりも「女性に関する人権」(女性 62.2% 男性 37.2%) が 25.0 ポイント、「子どもに関する人権」(女性 51.9% 男性 38.2%) が 13.7 ポイント高くなっている。



【年齢別】

20歳代から60歳代は「インターネットに関する人権問題」が、70歳代は「障害者に関する人権」が高くなっている。また、20歳代は「女性に関する人権」も高く、若年層になるに従い増加している。

(96)

	全体 (人)	インターネットによる 人権問題	女性に関する人権	障害者に関する人権	新型コロナウイルスに 関する人権問題	子どもに関する人権	働く人に関する人権	高齢者に関する人権	性的マイノリティ (LGBT等)の人権	犯罪被害者とその家族 に関する人権	北朝鮮による拉致問題	外国人に関する人権	災害に関する人権問題	ひきこもりに関する人 権問題	人身取引に関する人権 問題	同和問題(部落差別)	刑を終えて出所した人 の人権	HIV感染者の人権	ホームレスの人権	ハンセン病患者の人権	アイヌの人々に関する 人権	その他	特 に な い	無 回 答
18・19歳	23	60.9	60.9	47.8	60.9	34.8	34.8	13.0	34.8	13.0	39.1	43.5	13.0	4.3	13.0	8.7	8.7	8.7	13.0	8.7	13.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	272	59.9	59.9	46.7	43.0	46.0	44.5	24.3	46.7	24.6	15.4	28.3	16.5	16.9	13.2	12.9	12.1	10.3	16.2	6.6	9.6	1.5	3.3	1.1
30歳代	449	61.0	58.6	48.8	48.1	52.3	45.0	24.3	36.7	28.3	15.6	24.7	14.9	12.2	11.1	10.2	10.5	9.4	8.9	6.0	8.2	1.6	1.8	1.1
40歳代	612	66.8	52.1	47.5	52.1	45.1	37.6	23.2	34.3	34.6	22.9	19.4	19.1	13.7	14.5	12.3	10.0	9.3	8.7	9.6	7.7	1.0	2.0	0.7
50歳代	571	65.3	49.0	48.3	50.3	44.3	34.9	32.4	31.3	32.7	29.4	20.5	20.3	13.0	15.1	12.3	8.9	12.6	9.3	13.0	9.5	2.1	2.6	0.5
60歳代	455	61.8	49.5	54.3	45.5	45.7	27.0	41.8	25.5	33.2	35.4	19.6	20.0	14.7	13.6	13.8	13.0	8.8	10.5	11.0	11.6	2.0	3.5	2.0
70歳代	274	44.2	39.4	50.7	43.8	44.2	25.5	48.2	15.3	25.9	39.4	17.5	21.9	18.6	12.8	10.6	11.3	10.2	10.2	12.8	9.5	1.1	2.9	2.2
80歳以上	26	46.2	30.8	19.2	34.6	30.8	26.9	50.0	3.8	23.1	38.5	0.0	7.7	11.5	3.8	7.7	7.7	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0

◎ 自分自身または周辺の人の人権が侵害されたと2割後半が感じた経験がある

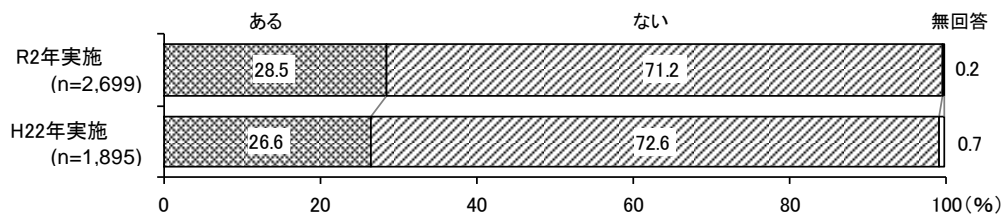
問5. あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの周りの人（家族・友人など）の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（○は1つ）

1 ある 2 ない

【県全域/前回との比較】

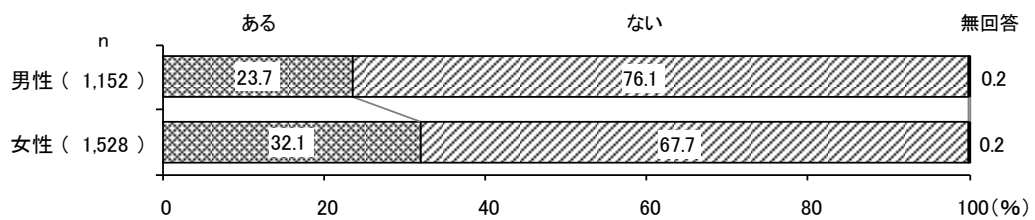
自分自身または周りの人の人権が侵害されたと感じた経験は、「ある」が 28.5%、「ない」が 71.2% となっている。

前回調査と比較して大きな変化はみられない。



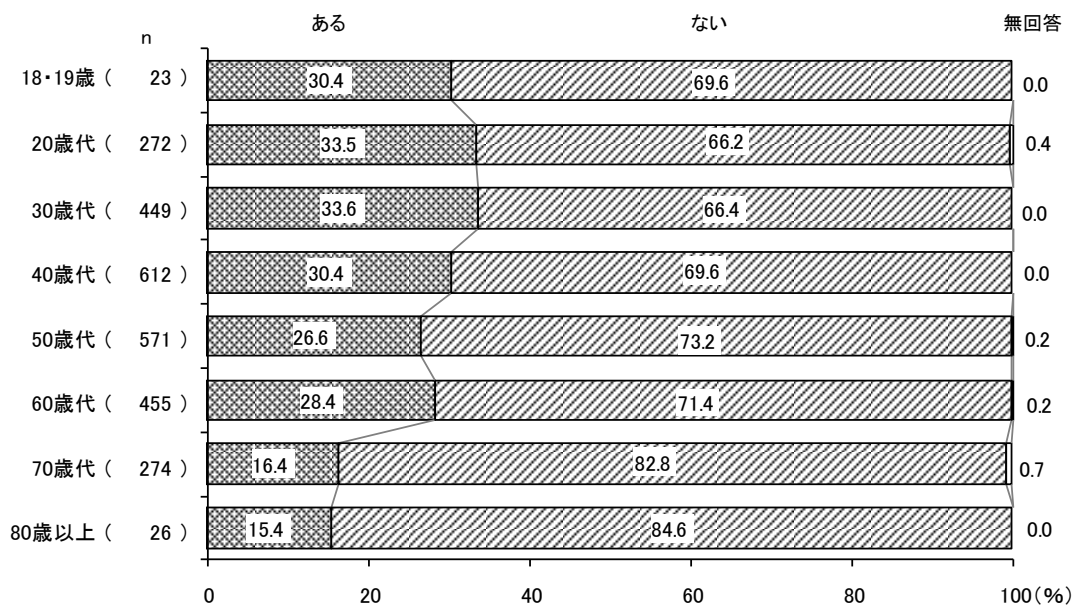
【性別】

人権侵害されたと感じた経験は女性（32.1%）が男性（23.7%）よりも 8.4 ポイント高くなっている。



【年齢別】

人権侵害されたと感じた経験は 40 歳代以下で 30%以上、50 歳代、60 歳代で 25%以上となっている。70 歳代以上では人権侵害されたと感じる経験は減少している。



◎ 人権が侵害されたと感じる内容は、「職場において、不当な待遇や上司の言動を受けた」、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われたりした」が高くなっている

【問5で、「1 ある」とお答えの方に引き続きおたずねします。】

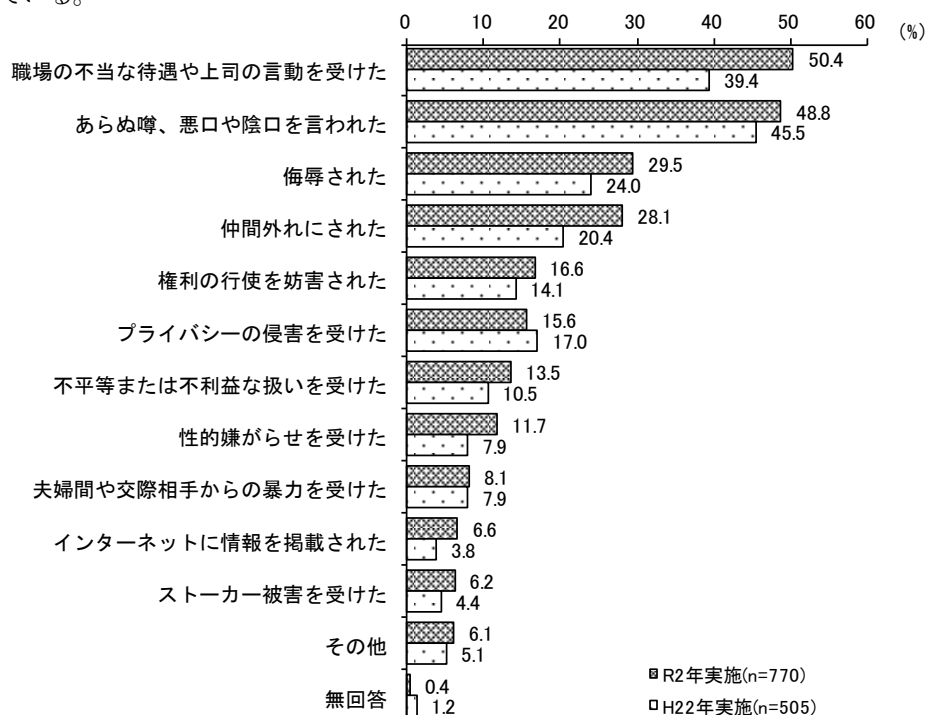
問6 それはどのような内容ですか。(該当するものすべてに○)

- 1 あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われたりした
- 2 名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした
- 3 社会的地位、習慣、脅迫などにより、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害されたりした
- 4 職場において、不当な待遇や上司の言動を受けた
- 5 人種・信条・性別の違いなどにより、不平等または不利益な扱いを受けた
- 6 プライバシーの侵害を受けた
- 7 インターネットを悪用し、差別的な情報を掲載された
- 8 性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた
- 9 夫婦間の暴力や交際相手からの暴力を受けた
- 10 ストーカー被害を受けた
- 11 学校や職場、地域などで仲間外れにされた
- 12 その他

【県全域／前回との比較】

人権が侵害されたと感じた経験のある 770 人に内容を聞いたところ、「職場において、不当な待遇や上司の言動を受けた」が 50.4%と最も高く、次いで、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われたりした」が 48.8%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」が 29.5%と続いている。

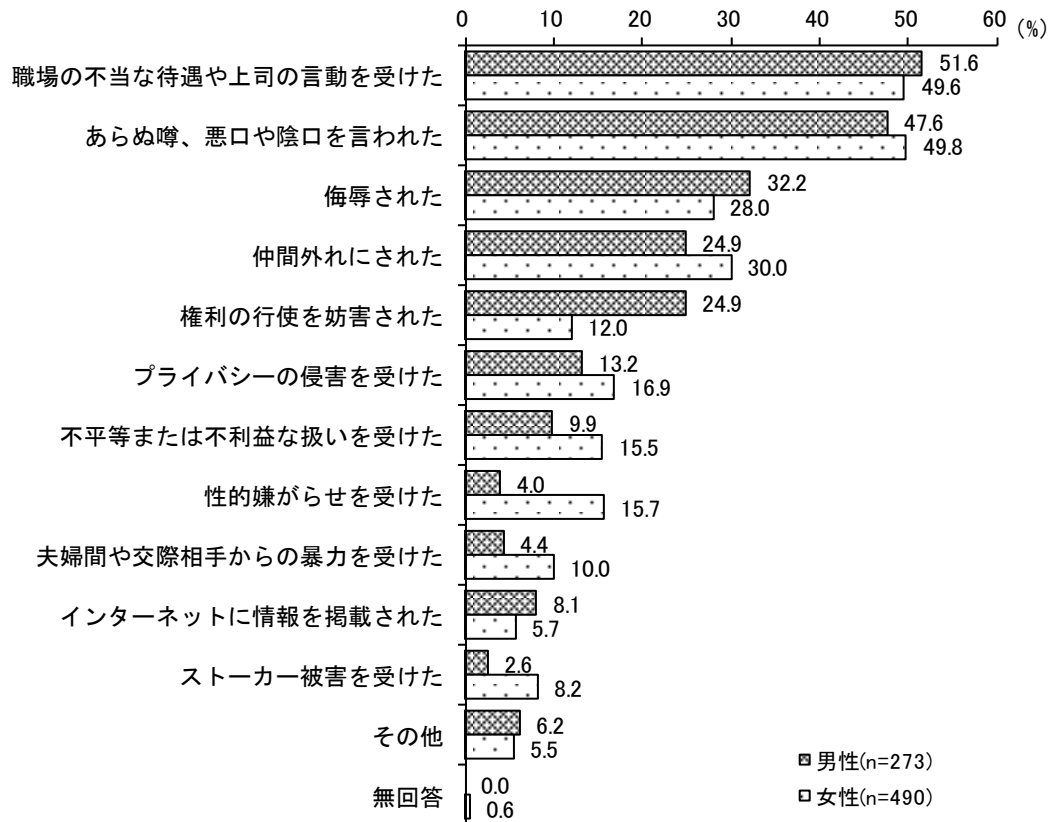
前回調査と比較すると、「職場の不当な待遇や上司の言動を受けた」(39.4%→50.4%)が 11.0 ポイント増加している。



II. 調査結果の分析

【性別】

男性は女性よりも「社会的地位、習慣、脅迫などにより、本来義務のないことをさせられたり、権利の行使を妨害されたりした」（男性 24.9% 女性 12.0%）が 12.9 ポイント高く、女性は男性よりも「性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた」（女性 15.7% 男性 4.0%）が 11.7 ポイント高くなっている。



【年齢別】

30 歳代から 60 歳代は「職場の不当な待遇や上司の言動を受けた」が 45%以上と高くなっている。20 歳代、70 歳代では「あらぬ噂、悪口や陰口を言われた」が高くなっている。

	全体 (人)	職場の 言動を 受けた 待遇や 上司	を あらぬ 噂、 悪口 や陰 口	侮 辱 さ れ た	仲 間 外 れ に さ れ た	た 権 利 の 行 使 を 妨 害 さ れ た	受 け た プ ラ イ バ シ ー の 侵 害 を	扱 い を 等 ま た は 不 利 益 な	性 的 嫌 が ら せ を 受 け た	の 夫 婦 間 や 交 際 相 手 か ら	を 掲 載 さ れ た イ ン タ ー ネ ッ ト に 情 報	た ス ト ー カ ー 被 害 を 受 け	そ の 他	無 回 答
18・19歳	7	0.0	71.4	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	91	44.0	52.7	28.6	34.1	14.3	16.5	24.2	26.4	3.3	6.6	13.2	1.1	0.0
30歳代	151	60.9	59.6	36.4	33.8	17.9	17.9	17.9	13.2	6.0	7.9	5.3	5.3	0.0
40歳代	186	53.8	47.3	32.8	30.6	19.4	15.6	10.2	10.2	11.8	7.5	7.5	5.4	0.5
50歳代	152	50.7	46.1	30.9	26.3	15.1	14.5	9.9	9.9	6.6	8.6	6.6	8.6	0.0
60歳代	129	45.7	41.1	17.8	22.5	14.7	10.9	12.4	6.2	9.3	3.1	2.3	7.8	0.0
70歳代	45	31.1	40.0	26.7	8.9	20.0	26.7	4.4	0.0	11.1	2.2	0.0	6.7	4.4
80歳以上	4	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

◎ 人権侵害への対応は「友人・家族等の身近な人に相談する」が5割を超えている

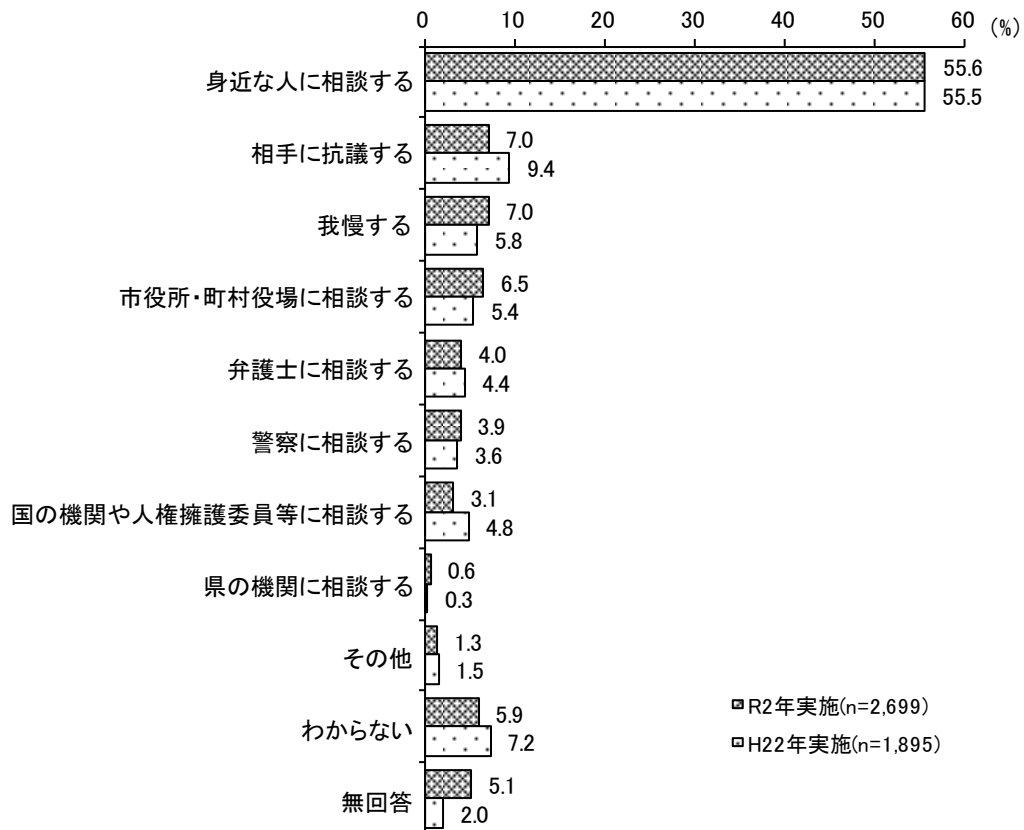
問7. もし、あなたが、ご自身の人権を侵害されたと感じた場合、まず、どのような対応をしますか。(○は1つ)

- 1 友人・家族等の身近な人に相談する
- 2 弁護士に相談する
- 3 国の機関や人権擁護委員、民生委員・児童委員に相談する
- 4 県の機関に相談する
- 5 市役所・町村役場の相談窓口相談する
- 6 警察に相談する
- 7 相手に抗議する
- 8 我慢する
- 9 その他
- 10 わからない

【県全域／前回との比較】

人権が侵害された場合の対応は、「友人・家族等の身近な人に相談する」が55.6%で最も高く、次いで、「相手に抗議する」「我慢する」が7.0%となっている。

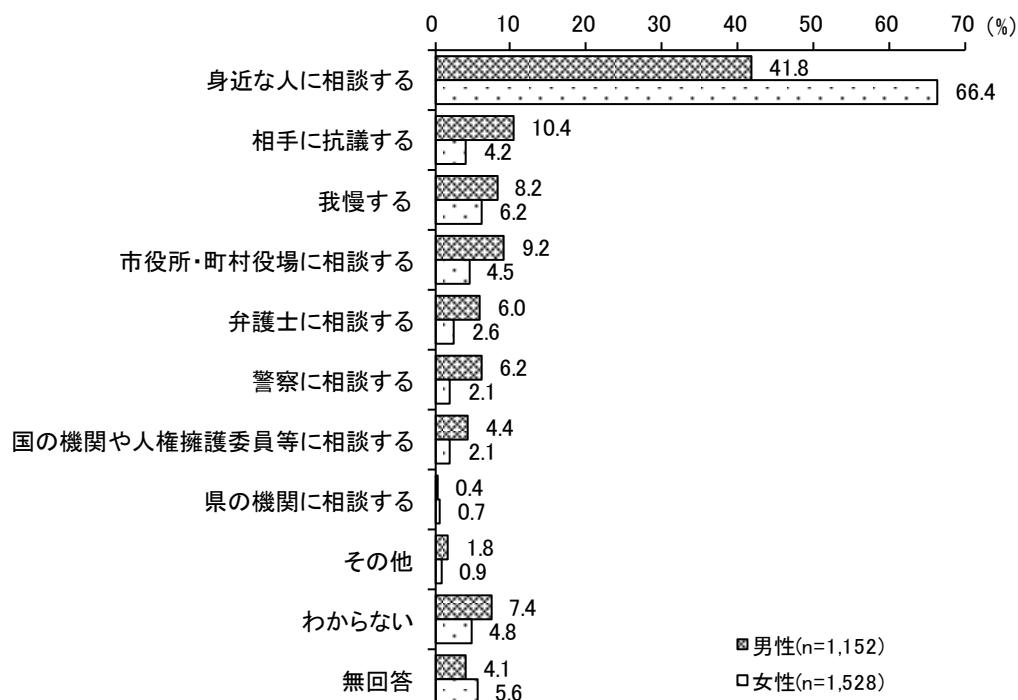
前回調査と比較して、相談相手や対応に大きな変化はみられない。



II. 調査結果の分析

【性別】

女性は男性よりも「身近な人に相談する」（女性 66.4% 男性 41.8%）が 24.6 ポイント高くなっている。男性は女性よりも「相手に抗議する」（男性 10.4% 女性 4.2%）が 6.2 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「身近な人に相談する」が高く、特に20歳代、30歳代では60%を超えている。

	全体 (人)	身近な人に相談する	相手に抗議する	我慢する	市役所・町村役場に相談する	弁護士に相談する	警察に相談する	国の機関や人権擁護委員等に相談する	県の機関に相談する	その他	わからない	無回答
18・19歳	23	82.6	0.0	8.7	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	272	64.0	7.7	14.0	1.8	2.6	1.8	0.7	0.0	0.7	3.7	2.9
30歳代	449	66.1	6.9	7.1	2.7	2.4	2.9	1.8	0.0	1.8	5.3	2.9
40歳代	612	56.9	7.0	7.2	5.4	4.6	2.6	1.1	0.2	2.1	7.7	5.2
50歳代	571	54.6	6.7	6.7	6.0	4.4	4.0	3.9	1.4	1.2	6.5	4.7
60歳代	455	50.1	8.4	5.3	9.0	4.6	5.1	5.3	0.7	1.1	5.1	5.5
70歳代	274	37.6	4.7	4.0	16.8	4.7	8.0	5.8	1.5	0.4	6.6	9.9
80歳以上	26	57.7	3.8	0.0	15.4	3.8	3.8	11.5	0.0	0.0	0.0	3.8

2 女性の人権

◎ 女性の人権が尊重されていないと感じるのは「男女の固定的な性別役割分担意識を押し付けること」が5割を超え最も高くなっている

問8. あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのような行為に対してですか。

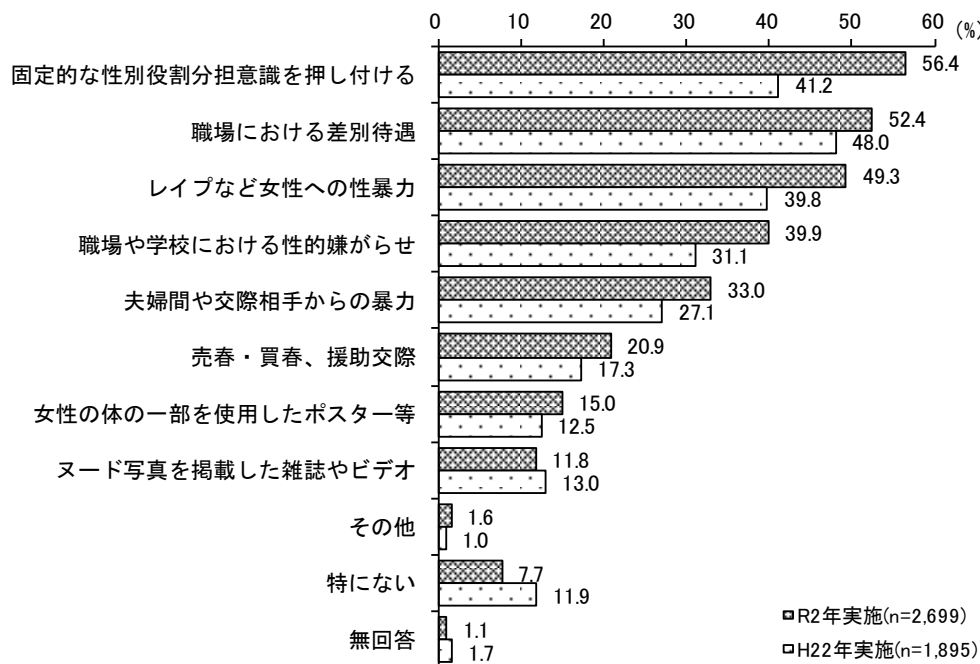
(該当するものすべてに○)

- 1 男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること
- 2 職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）
- 3 売春・買春、援助交際
- 4 レイプ（強姦）など女性への性暴力
- 5 夫婦間の暴力や交際相手からの暴力
- 6 職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）
- 7 女性のヌード写真を掲載した雑誌やアダルトビデオ
- 8 女性の体の一部などを、内容と無関係に使用したポスターやテレビ
- 9 その他
- 10 特にない

【県全域／前回との比較】

女性の人権が尊重されていないと感じる行為は、「男女の固定的な性別役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）を押し付けること」が56.4%で最も高く、次いで、「職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が52.4%、「レイプ（強姦）など女性への性暴力」が49.3%と続いている。

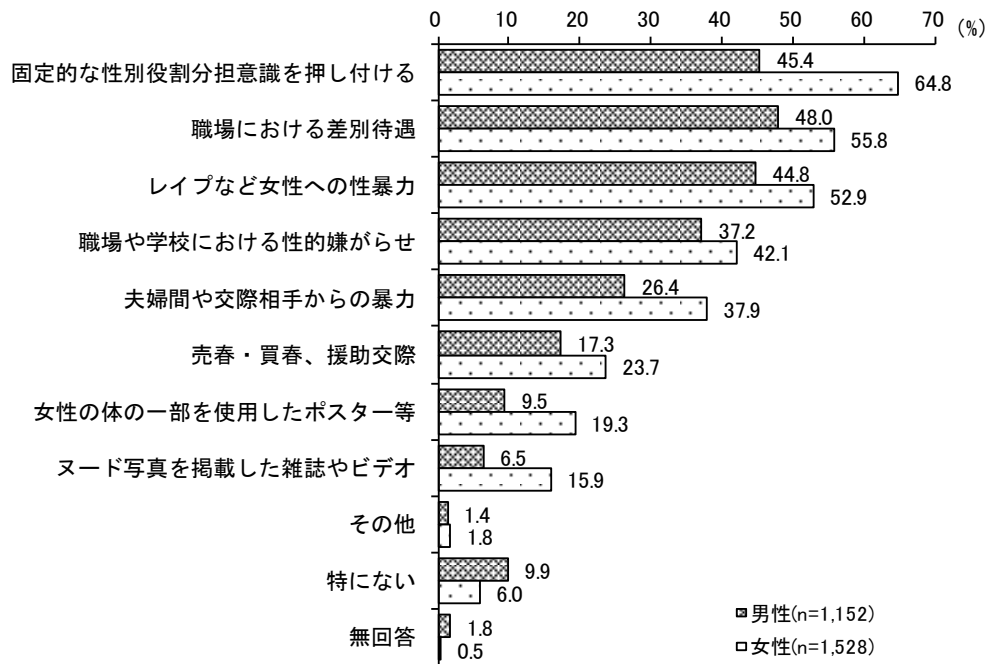
前回調査と比較すると、「固定的な性別役割分担意識を押し付ける」（41.2%→56.4%）が15.2ポイント高くなっている。



II. 調査結果の分析

【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「固定的な性別役割分担意識を押し付ける」(女性 64.8% 男性 45.4%) が 19.4 ポイント、「夫婦間の暴力や交際相手からの暴力」(女性 37.9% 男性 26.4%) が 11.5 ポイント、「女性の体の一部などを、内容と無関係に使用したポスターやテレビ」(女性 19.3% 男性 9.5%) が 9.8 ポイント高くなっている。男性は女性よりも「特にない」(男性 9.9% 女性 6.0%) が 3.9 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「固定的な性別役割分担意識を押し付ける」、「職場における差別待遇」が高くなっている。「固定的な性別役割分担意識を押し付ける」は若年層になるに従い増加している。

	全体 (人)	意識を押し付ける	職場における差別待遇	レイプなど女性への性暴力	職場や学校における性的嫌がらせ	夫婦間や交際相手からの暴力	売春・買春、援助交際	女性の体の一部を使用したポスター等	雑誌やビデオを掲載したヌード写真を掲載した	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	65.2	60.9	47.8	43.5	39.1	30.4	21.7	21.7	0.0	4.3	0.0
20歳代	272	64.3	54.4	51.1	47.8	31.6	24.6	17.6	9.9	0.7	7.4	0.4
30歳代	449	63.3	55.9	49.4	39.9	33.0	19.6	15.1	11.6	1.6	6.5	0.4
40歳代	612	58.2	51.3	51.6	37.3	32.4	20.4	13.4	10.0	2.8	6.2	1.0
50歳代	571	54.8	49.2	52.5	40.6	33.6	20.1	12.1	10.2	1.2	7.7	1.2
60歳代	455	53.2	54.7	48.6	42.6	34.9	22.9	16.7	14.1	1.5	8.8	0.4
70歳代	274	43.4	49.3	40.9	34.3	31.0	19.3	19.0	17.9	1.5	10.6	2.9
80歳以上	26	38.5	57.7	19.2	23.1	30.8	7.7	15.4	7.7	0.0	11.5	7.7

◎ 女性の人権を守るために必要なことは「男女平等や性についての教育を充実する」が4割半ばと最も高くなっている

問9. あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

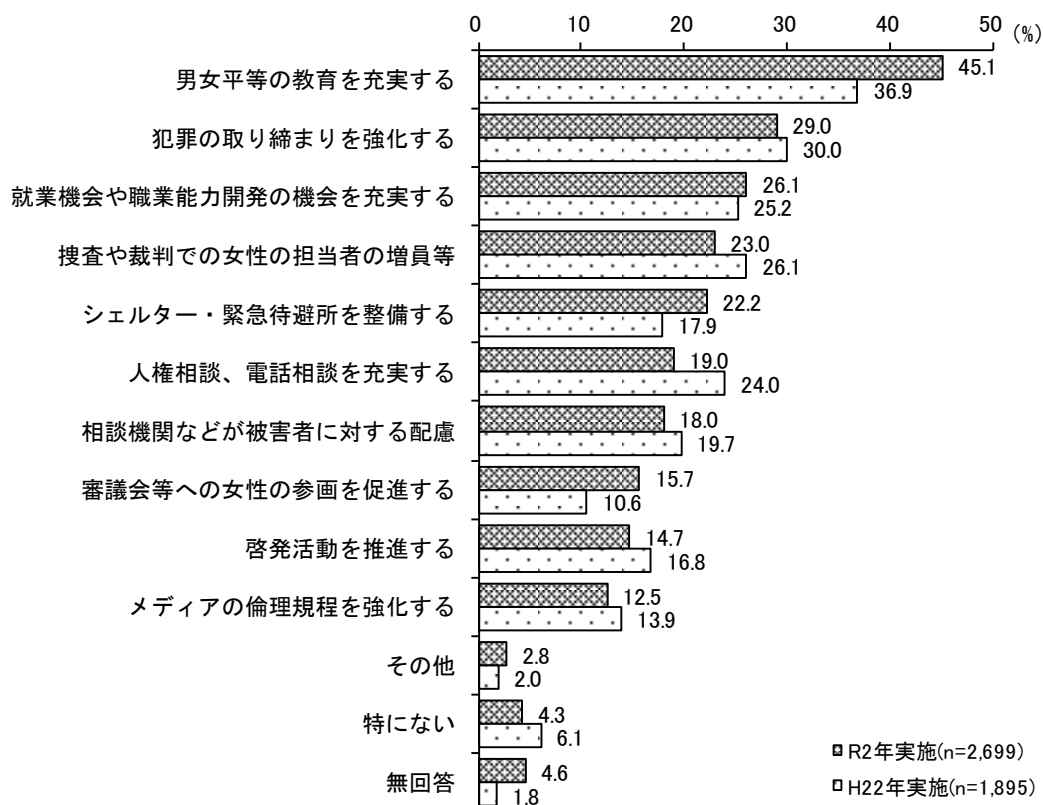
(〇は3つまで)

- 1 女性の人権を守るための啓発活動を推進する
- 2 女性のための人権相談、電話相談を充実する
- 3 男女平等や性についての教育を充実する
- 4 女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する
- 5 議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する
- 6 女性が暴力等の被害から逃避するための「シェルター・緊急待避所」を整備する
- 7 女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する
- 8 相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする
- 9 捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届けやすいようにする
- 10 テレビ、映画、新聞、雑誌などのメディアの倫理規定を強化する
- 11 その他
- 12 特にない

【県全域／前回との比較】

女性の人権を守るために必要なこととして、「男女平等や性についての教育を充実する」が45.1%で最も高く、次いで、「女性が被害者になる犯罪の取り締まりを強化する」が29.0%と続いている。

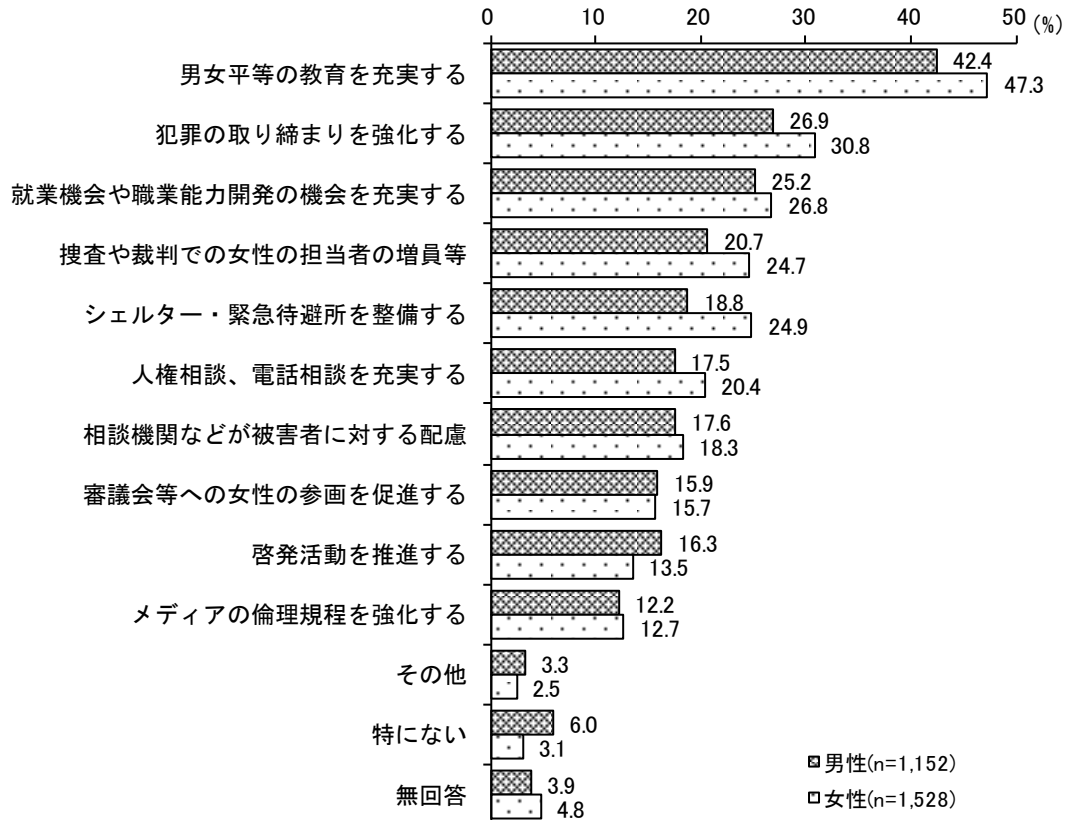
前回調査と比較すると、「男女平等の教育を充実する」(36.9%→45.1%)が8.2ポイント増加している。



II. 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「男女平等の教育を充実する」が40%を超え最も高くなっている。女性は男性よりも「女性が暴力等の被害から逃避するための「シェルター・緊急待避所」を整備する」(女性 24.9% 男性 18.8%) が6.1ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「男女平等の教育を充実する」が高く、若年層になるに従い増加している。

	全体 (人)	男女平等の教育を充実する	犯罪の取り締まりを強化する	就業機会や職業能力開発の機会を充実する	捜査や裁判での女性の担当者の増員等	シェルター・緊急待避所を整備する	人権相談、電話相談を充実する	相談機関などが被害者に対する配慮	審議会等への女性の参画を促進する	啓発活動を推進する	メディアの倫理規程を強化する	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	56.5	34.8	21.7	21.7	13.0	21.7	8.7	17.4	21.7	13.0	0.0	4.3	0.0
20歳代	272	52.6	25.0	32.7	16.5	19.1	13.6	18.0	16.2	7.7	12.1	2.6	5.1	4.4
30歳代	449	51.0	29.4	32.3	22.7	20.9	16.3	14.3	16.0	10.9	10.7	2.7	4.2	4.7
40歳代	612	46.1	29.9	25.7	21.4	24.0	15.5	16.8	14.4	10.5	11.4	4.4	4.7	5.1
50歳代	571	43.3	32.2	23.3	27.1	24.7	18.0	18.6	14.7	15.8	15.1	2.3	3.2	3.5
60歳代	455	42.6	25.9	22.0	23.1	24.2	25.7	20.9	16.5	21.5	12.7	2.6	4.2	4.4
70歳代	274	35.4	29.6	23.7	24.5	16.4	27.0	22.3	19.3	21.5	12.0	1.8	5.5	5.1
80歳以上	26	30.8	26.9	26.9	23.1	19.2	30.8	11.5	19.2	30.8	7.7	0.0	3.8	0.0

3 子どもの人権

◎ 子どもの人権が尊重されていないと感じるのは「保護者による子どもへの虐待・暴力」「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりする」が高くなっている

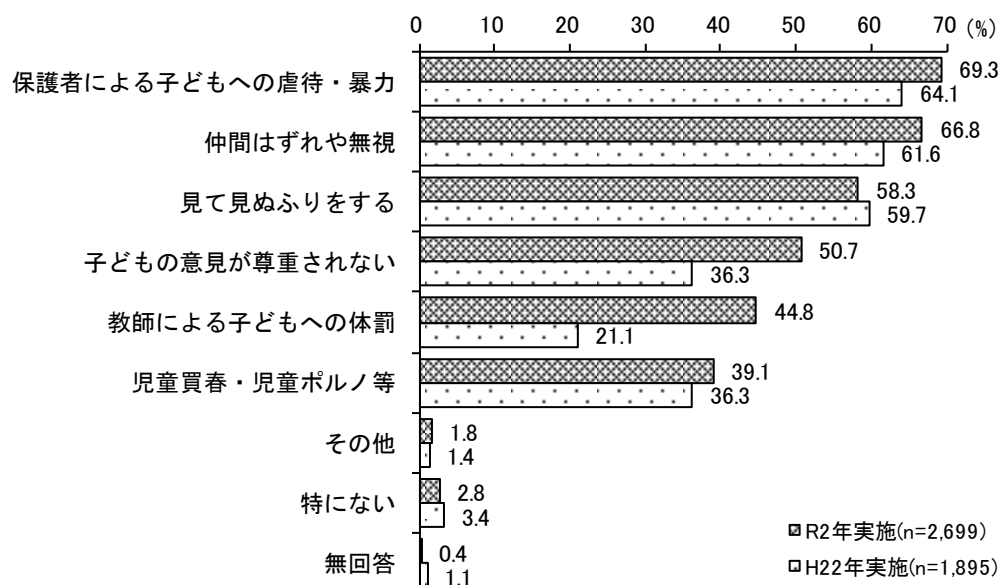
問10. あなたは、子どもの人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりする
- 2 いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする
- 3 教師による子どもへの体罰
- 4 保護者による子どもへの虐待・暴力
- 5 親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見が尊重されない
- 6 児童買春・児童ポルノ等
- 7 その他
- 8 特にない

【県全域／前回との比較】

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「保護者による子どもへの虐待・暴力」が69.3%で最も高く、次いで、「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりする」が66.8%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」が58.3%と続いている。

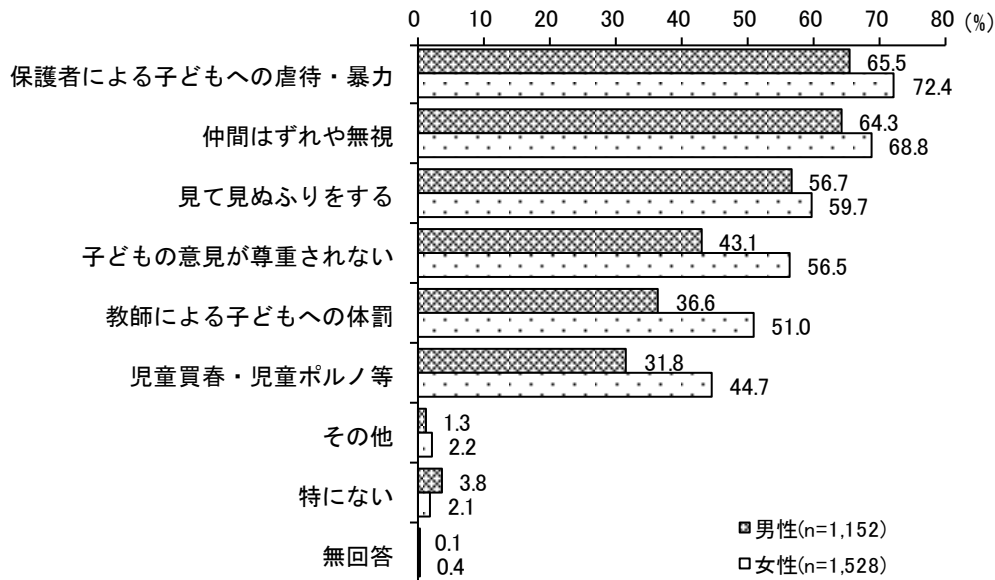
前回調査と比較すると、「教師による子どもへの体罰」(21.1%→44.8%)が23.7ポイント、「親が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見が尊重されない」(36.3%→50.7%)が14.4ポイント増加している。



II. 調査結果の分析

【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「教師による子どもへの体罰」(女性 51.0% 男性 36.6%)が 14.4 ポイント、「子どもの意見が尊重されない」(女性 56.5% 男性 43.1%)が 13.4 ポイント、「児童買春・児童ポルノ等」(女性 44.7% 男性 31.8%)が 12.9 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「保護者による子どもへの虐待・暴力」、「仲間はずれや無視」、「見て見ぬふりをする」が高くなっている。

	全体 (人)	の保護者による子どもへの虐待・暴力	仲間はずれや無視	見て見ぬふりをする	れ子どもの意見が尊重さ	体罰教師による子どもへの	等児童買春・児童ポルノ	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	73.9	47.8	52.2	73.9	43.5	34.8	0.0	0.0	0.0
20歳代	272	68.4	59.2	52.2	62.1	45.6	36.8	2.2	2.6	0.4
30歳代	449	68.6	66.6	60.8	58.4	50.3	40.1	1.8	3.3	0.0
40歳代	612	64.9	63.2	53.6	51.8	44.4	40.5	2.0	2.1	0.2
50歳代	571	72.2	70.1	60.6	47.6	43.1	41.2	1.6	2.3	0.2
60歳代	455	76.0	71.2	62.0	42.6	44.0	40.9	2.0	2.9	0.7
70歳代	274	67.2	69.7	62.0	43.8	41.2	31.8	1.5	5.1	0.4
80歳以上	26	53.8	73.1	46.2	46.2	42.3	23.1	0.0	3.8	0.0

◎ 子どもの人権を守るために必要なことは「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする
思いやりを教える」が4割後半で最も高くなっている。

問11. あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

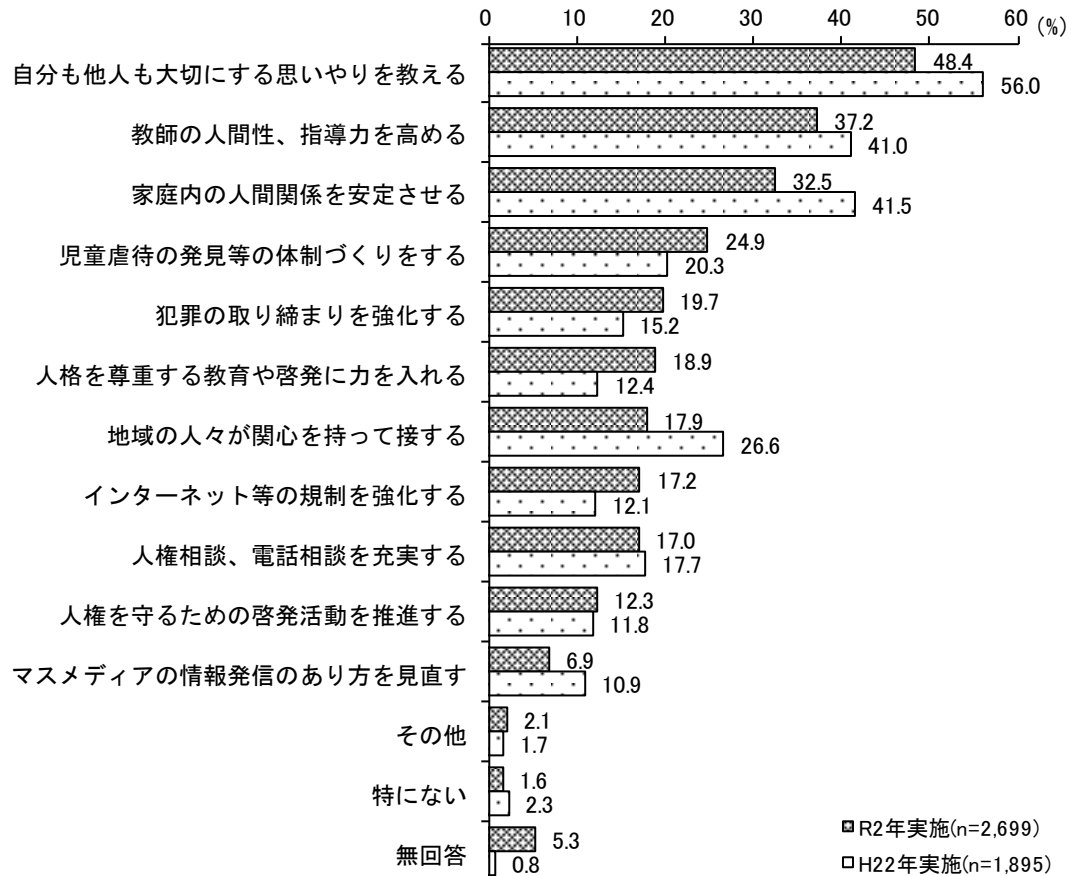
- 1 子どもの人権を守るための啓発活動を推進する
- 2 子どものための人権相談、電話相談を充実する
- 3 教師の人間性、指導力を高める
- 4 家庭内の人間関係を安定させる
- 5 子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える
- 6 子どもの人格を尊重する教育や意識啓発に力を入れる
- 7 地域の人々が、どの子どもにも関心を持って接する
- 8 子どもが被害者となる犯罪の取り締まりを強化する
- 9 児童虐待の発見や、その解決のための体制づくりをする
- 10 マスメディアの情報（テレビの暴力シーン等）発信のあり方を見直す
- 11 インターネットやスマートフォンの利用等に関わる規制を強化する
- 12 その他
- 13 特にない

II. 調査結果の分析

【県全域／前回との比較】

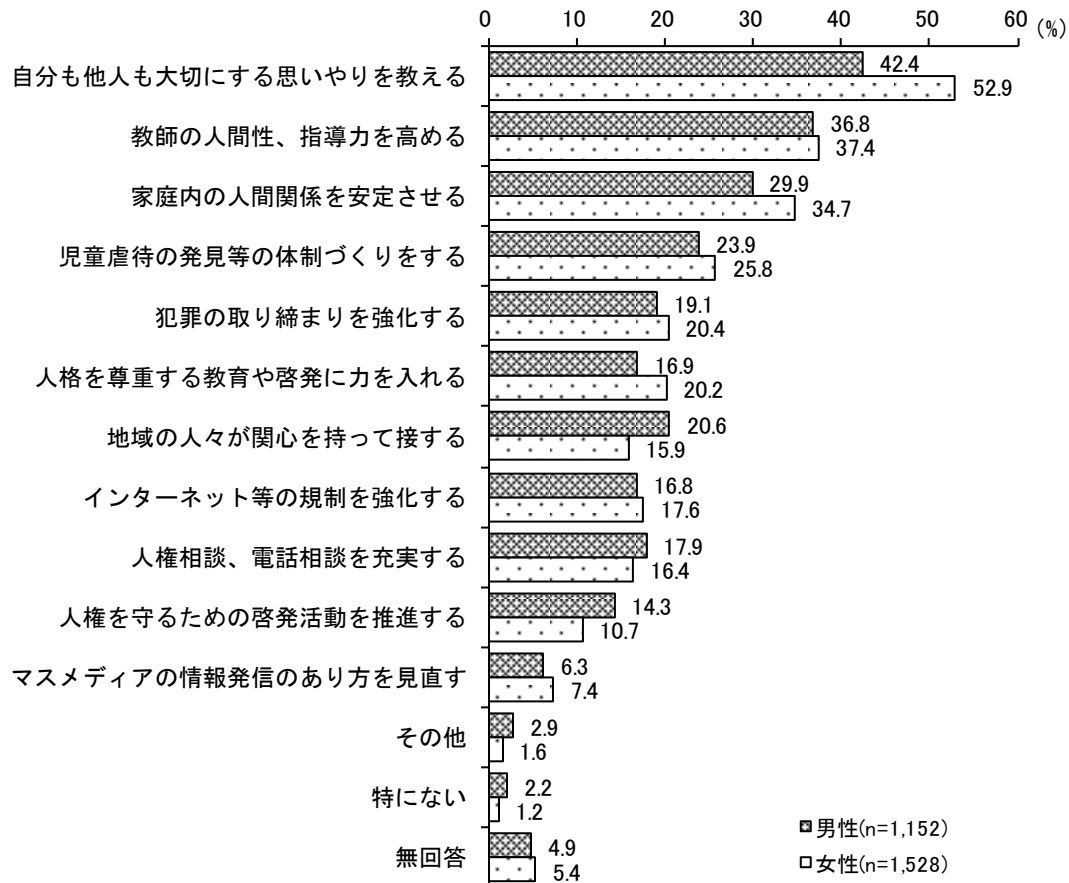
子どもの人権を守るために必要なこととして、「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」が48.4%で最も高く、次いで、「教師の人間性、指導力を高める」が37.2%、「家庭内の人間関係を安定させる」が32.5%と続いている。

前回調査と比較すると、「家庭内の人間関係を安定させる」(41.5%→32.5%)が9.0ポイント、「地域の人々が、どの子どもにも関心を持って接する」(26.6%→17.9%)が8.7ポイント減少している。



【性別】

女性は男性よりも「自分も他人も大切に思いやりを教える」(女性 52.9% 男性 42.4%) が 10.5 ポイント高く、男性は女性よりも「地域の人々が関心を持って接する」(男性 20.6% 女性 15.9%) が 4.7 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「自分も他人も大切に思いやりを教える」が高く、特に 70 歳代で 55.5% となっている。

	全体 (人)	自分も他人も大切に思いやりを教える	教師の人間性、指導力を高める	家庭内の人間関係を安定させる	児童虐待の発見等の体制づくりをする	犯罪の取り締まりを強化する	啓発に力を入れる教育や	地域の人々が関心を持って接する	インターネット等の規制を強化する	人権相談、電話相談を充実する	人権を守るための啓発活動を推進する	マスメディアの情報発信のあり方を見直す	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	39.1	43.5	43.5	30.4	13.0	17.4	17.4	17.4	30.4	13.0	13.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	272	46.7	36.4	39.7	26.1	18.4	24.6	15.4	12.9	19.1	9.2	4.0	1.1	2.9	4.8
30歳代	449	50.3	35.4	36.5	24.5	22.9	17.6	17.6	15.1	15.4	10.5	6.5	3.1	0.7	5.1
40歳代	612	48.5	34.3	32.5	26.6	21.9	18.5	17.3	21.2	13.2	9.6	5.7	3.3	1.5	5.1
50歳代	571	48.0	37.8	29.1	28.5	23.5	19.6	18.7	17.7	19.3	10.5	6.3	1.9	1.2	4.2
60歳代	455	44.0	40.0	30.5	24.8	15.2	17.6	16.7	16.3	19.6	19.1	7.9	1.8	1.8	6.8
70歳代	274	55.5	40.9	29.2	15.3	13.1	16.8	20.8	17.2	15.7	15.3	12.4	0.7	2.9	5.8
80歳以上	26	53.8	34.6	34.6	7.7	7.7	23.1	34.6	11.5	23.1	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0

4 高齢者の人権

◎ 人権が尊重されていないと感じるのは「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多いこと」が5割を超えている

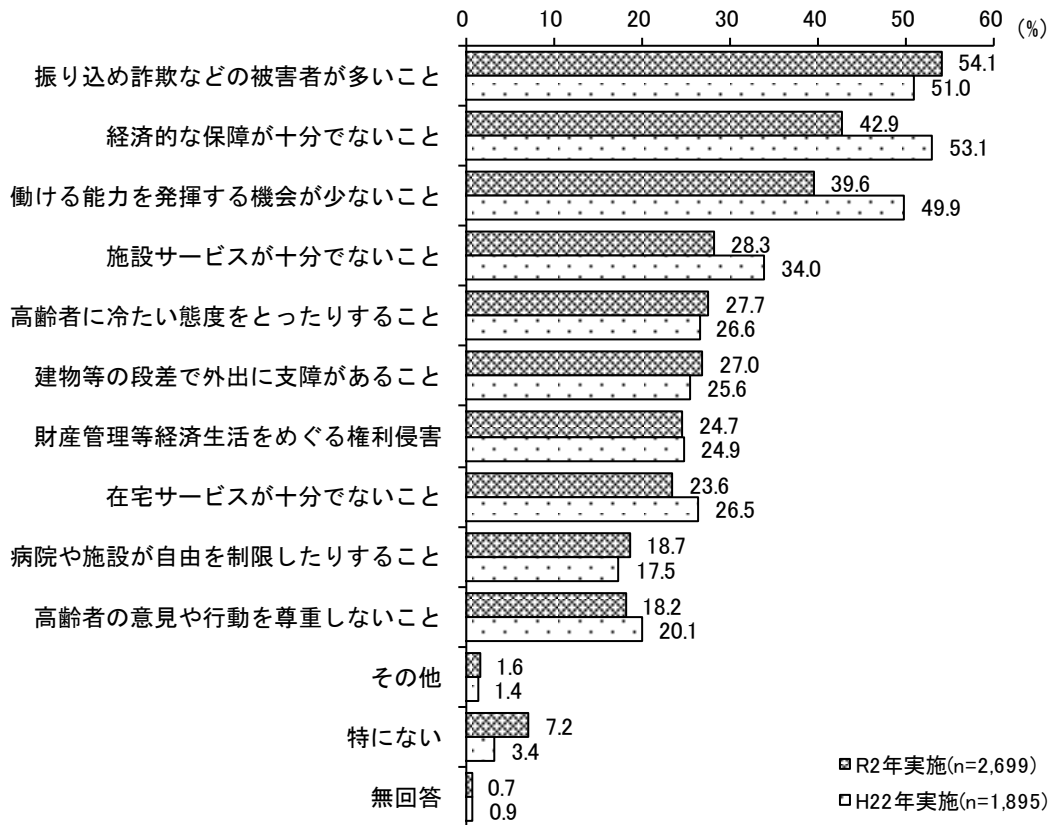
問12. あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

- 1 経済的な保障が十分でないこと
- 2 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
- 3 施設サービスが十分でないこと
- 4 在宅サービスが十分でないこと
- 5 病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりすること
- 6 道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること
- 7 高齢者に冷たい態度を取ったり、相手にしなかったりすること
- 8 判断能力が十分でない高齢者に、財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること
- 9 高齢者の意見や行動を尊重しないこと
- 10 悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多いこと
- 11 その他
- 12 特にない

【県全域／前回との比較】

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多いこと」が 54.1%で最も高く、次いで、「経済的な保障が十分でないこと」が 42.9%、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が 39.6%と続いている。

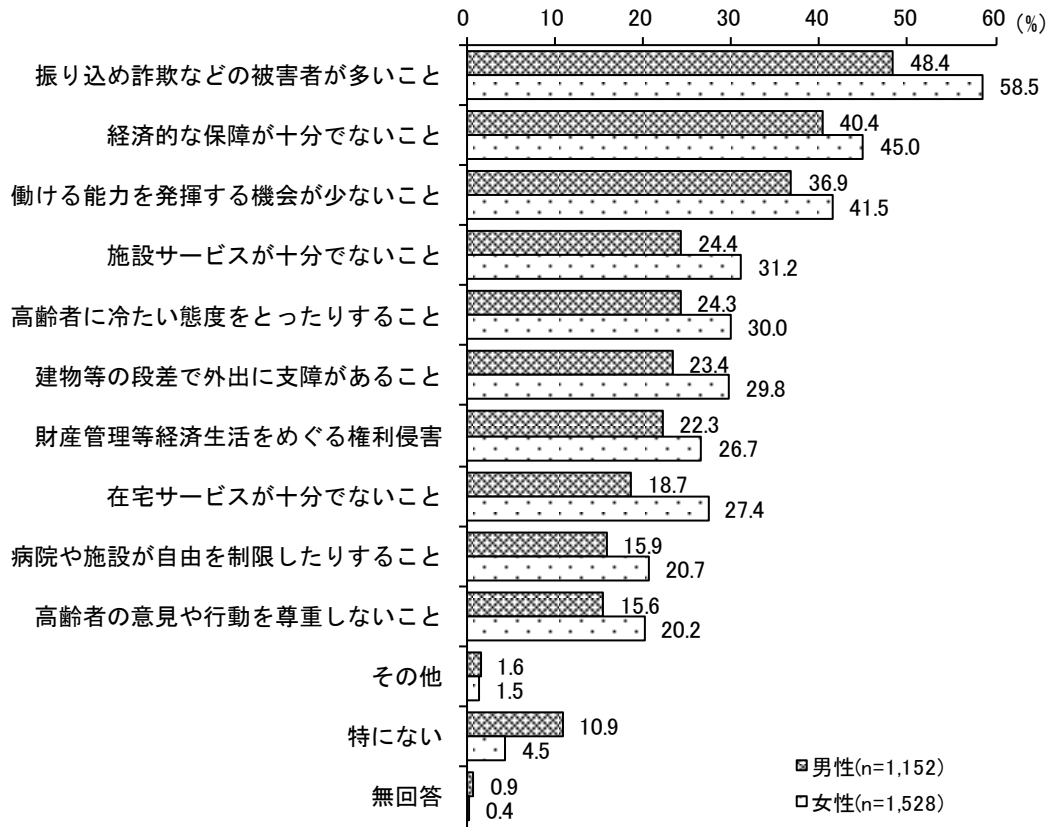
前回調査と比較すると、「経済的な保障が十分でないこと」(53.1%→42.9%)が 10.2 ポイント、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」(49.9%→39.6%)が 10.3 ポイント減少している。



II. 調査結果の分析

【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「振り込め詐欺などの被害者が多いこと」（女性 58.5% 男性 48.4%）が 10.1 ポイント、「在宅サービスが十分でないこと」（女性 27.4% 男性 18.7%）が 8.7 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「振り込め詐欺などの被害者が多いこと」が高くなっている。

	全体 (人)	振り込め詐欺などの被害者が多いこと	経済的な保障が十分でないこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	施設サービスが十分でないこと	高齢者に冷たい態度をとったりすること	建物等の段差で外出に支障があること	財産管理等経済生活をめぐる権利侵害	在宅サービスが十分でないこと	病院や施設が自由を制限したりすること	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	その他	特にない	無回答
18・19歳	23	47.8	52.2	26.1	17.4	39.1	34.8	13.0	17.4	26.1	21.7	0.0	4.3	0.0
20歳代	272	41.9	32.0	36.0	23.5	26.1	30.5	22.8	16.2	20.2	16.9	1.1	14.0	1.1
30歳代	449	48.8	39.0	38.3	24.7	27.8	24.1	24.1	21.2	16.7	16.0	1.6	10.0	0.2
40歳代	612	56.5	40.2	41.2	29.4	27.0	22.5	27.1	26.1	18.1	16.2	1.6	7.8	0.3
50歳代	571	60.4	44.8	40.1	30.8	28.2	32.2	26.8	30.5	20.0	17.7	1.4	4.4	0.7
60歳代	455	55.4	52.3	43.1	29.2	27.7	30.5	24.8	22.6	20.0	18.9	2.4	4.2	0.7
70歳代	274	54.7	48.5	36.9	29.9	27.0	22.3	20.1	17.9	16.1	26.3	1.1	5.1	1.1
80歳以上	26	53.8	19.2	30.8	19.2	26.9	19.2	15.4	15.4	15.4	26.9	0.0	11.5	0.0

◎ 高齢者の人権を守るために必要なことは「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」が約5割と最も高くなっている

問13. あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

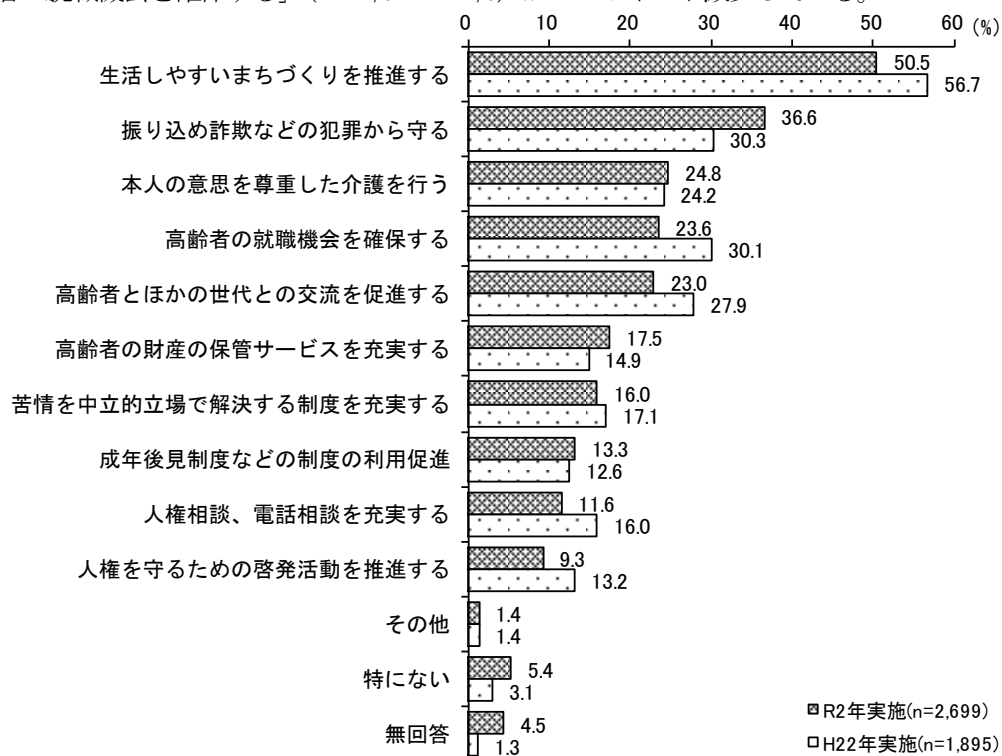
(〇は3つまで)

- 1 高齢者の人権を守るための啓発活動を推進する
- 2 高齢者のための人権相談、電話相談を充実する
- 3 高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する
- 4 高齢者の就職機会を確保する
- 5 高齢者とほかの世代との交流を促進する
- 6 判断能力の十分でない高齢者の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する
- 7 成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用促進
- 8 本人の意思を尊重した介護を行う
- 9 病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する
- 10 悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る
- 11 その他
- 12 特にない

【県全域／前回との比較】

高齢者の人権を守るために必要なこととして、「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」が50.5%で最も高く、次いで、「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」が36.6%、「本人の意思を尊重した介護を行う」が24.8%と続いている。

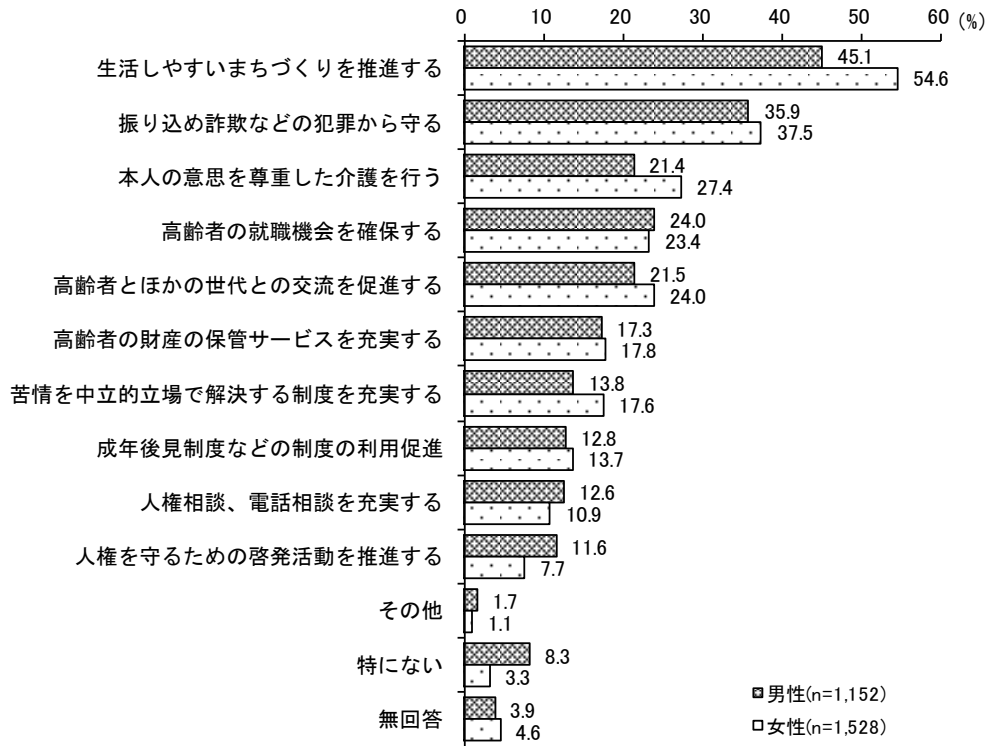
前回調査と比較すると、「振り込め詐欺などの犯罪から守る」(30.3%→36.6%)が6.3ポイント増加、「高齢者の就職機会を確保する」(30.1%→23.6%)が6.5ポイント減少している。



II. 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「生活しやすいまちづくりを推進する」の割合が最も高くなっている。また、女性は男性よりも「生活しやすいまちづくりを推進する」（女性 54.6% 男性 45.1%）が 9.5 ポイント、「本人の意思を尊重した介護を行う」（女性 27.4% 男性 21.4%）が 6.0 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「生活しやすいまちづくりを推進する」が最も高くなっている。

	全体 (人)	生活しやすいまちづくりを推進する	振り込め詐欺などの犯罪から守る	本人の意思を尊重した介護を行う	高齢者の就職機会を確保する	高齢者とほかの世代との交流を促進する	高齢者の財産の保管サービスを充実する	苦情を中立的立場で解決する制度を充実する	成年後見制度などの制度の利用促進	人権相談、電話相談を充実する	人権を守るための啓発活動を推進する	その他	特になし	無回答
18・19歳	23	56.5	39.1	43.5	8.7	13.0	26.1	13.0	13.0	17.4	8.7	0.0	4.3	4.3
20歳代	272	47.8	27.6	26.8	19.1	18.4	19.5	11.8	14.0	6.6	5.5	1.5	14.7	2.9
30歳代	449	45.9	33.9	21.2	23.8	25.2	18.0	14.3	11.6	10.5	7.8	1.6	6.7	3.3
40歳代	612	47.4	39.4	20.6	27.6	22.5	19.8	16.7	15.5	8.7	7.5	1.5	5.6	3.4
50歳代	571	51.0	38.9	27.3	24.7	25.6	17.7	16.5	16.1	11.4	6.7	1.2	3.0	6.1
60歳代	455	58.0	36.5	27.3	24.2	21.5	15.6	19.1	9.0	15.2	15.2	1.1	2.6	4.6
70歳代	274	52.9	40.5	27.4	19.3	23.4	12.0	16.1	13.1	19.7	14.2	1.5	4.7	5.1
80歳以上	26	65.4	34.6	30.8	7.7	19.2	19.2	7.7	7.7	7.7	23.1	3.8	0.0	3.8

5 障害者の人権

◎ 障害者の人権が尊重されていないと感じるのは「障害または障害者についての理解が十分でない」が約7割と最も高くなっている

問14. あなたは、障害者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

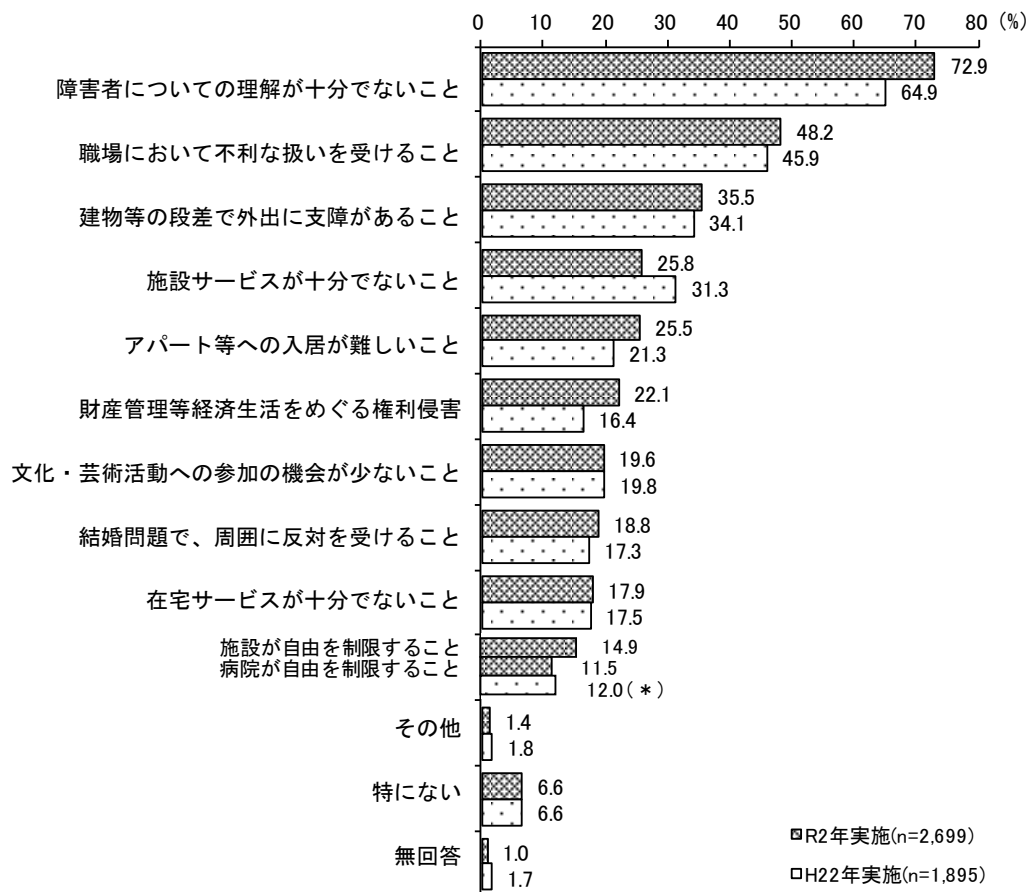
- 1 障害または障害者についての理解が十分でないこと
- 2 就職活動や職場において不利な扱いを受けること
- 3 施設サービスが十分でないこと
- 4 在宅サービスが十分でないこと
- 5 病院が本人の意思に反して自由を制限すること
- 6 施設が本人の意思に反して自由を制限すること
- 7 知的障害者や精神障害者等に財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること
- 8 道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること
- 9 スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと
- 10 結婚問題で、周囲に反対を受けること
- 11 アパート等への入居が難しいこと
- 12 その他
- 13 特にない

II. 調査結果の分析

【県全域／前回との比較】

障害者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「障害または障害者についての理解が十分でないこと」が72.9%で最も高く、次いで、「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が48.2%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」が35.5%と続いている。

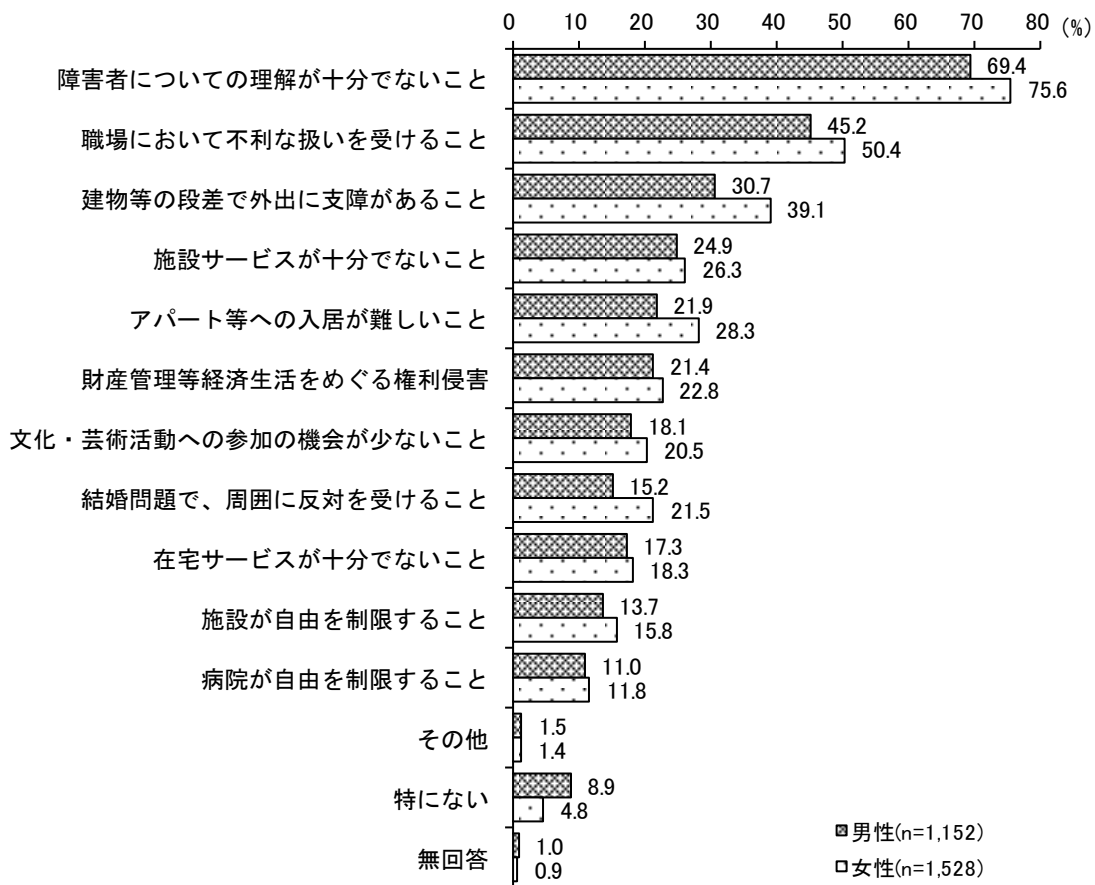
前回調査と比較すると、「障害者についての理解が十分でないこと」(64.9%→72.9%)が8.0ポイント増加している。



* : H22年は「病院や施設が本人の意思に反して自由を制限したりすること」

【性別】

いずれの項目も女性は男性より高く、特に「建物等の段差で外出に支障があること」（女性 39.1% 男性 30.7%）が8.4ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「障害者についての理解が十分でないこと」が最も高くなっている。

	全体 (人)	が障害者について理解	職場における不利な扱い	建物等の段差で外出に	ないことサービスが十分で	難しいこと等への入居が	アパート等への入居が	めぐる権利等経済生活を	加文化・芸術活動への参	対を結婚問題で、周囲に反	結を婚問題で、周囲に反	ないことサービスが十分で	在宅サービスが十分で	施設が自由を制限する	病院が自由を制限する	その他	特になし	無回答
18・19歳	23	87.0	56.5	52.2	21.7	26.1	21.7	30.4	30.4	13.0	26.1	26.1	0.0	4.3	0.0			
20歳代	272	72.8	54.4	32.7	22.1	26.5	22.1	21.7	24.3	16.2	15.8	15.1	1.5	7.7	0.4			
30歳代	449	74.6	52.3	33.4	23.4	23.6	23.4	16.3	24.5	15.1	14.7	12.9	1.1	6.7	0.4			
40歳代	612	75.3	46.1	30.1	26.1	25.7	20.9	17.8	20.8	18.3	14.4	11.6	2.1	6.0	0.3			
50歳代	571	73.7	47.1	36.1	27.1	27.7	23.1	16.8	17.2	18.9	15.4	11.0	1.6	4.9	0.9			
60歳代	455	69.5	47.3	44.6	29.5	26.2	24.4	23.1	14.9	19.6	13.8	9.9	0.9	6.8	1.3			
70歳代	274	70.1	43.8	36.9	23.7	21.9	17.5	25.2	8.8	18.2	15.3	7.3	0.7	9.1	1.8			
80歳以上	26	53.8	42.3	26.9	23.1	23.1	23.1	23.1	15.4	15.4	15.4	11.5	3.8	7.7	7.7			

◎ 障害者の人権を守るために必要なことは「自立を目指す障害者が、生活しやすい環境にする」が3割後半と最も高くなっている

問15. あなたは、障害者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

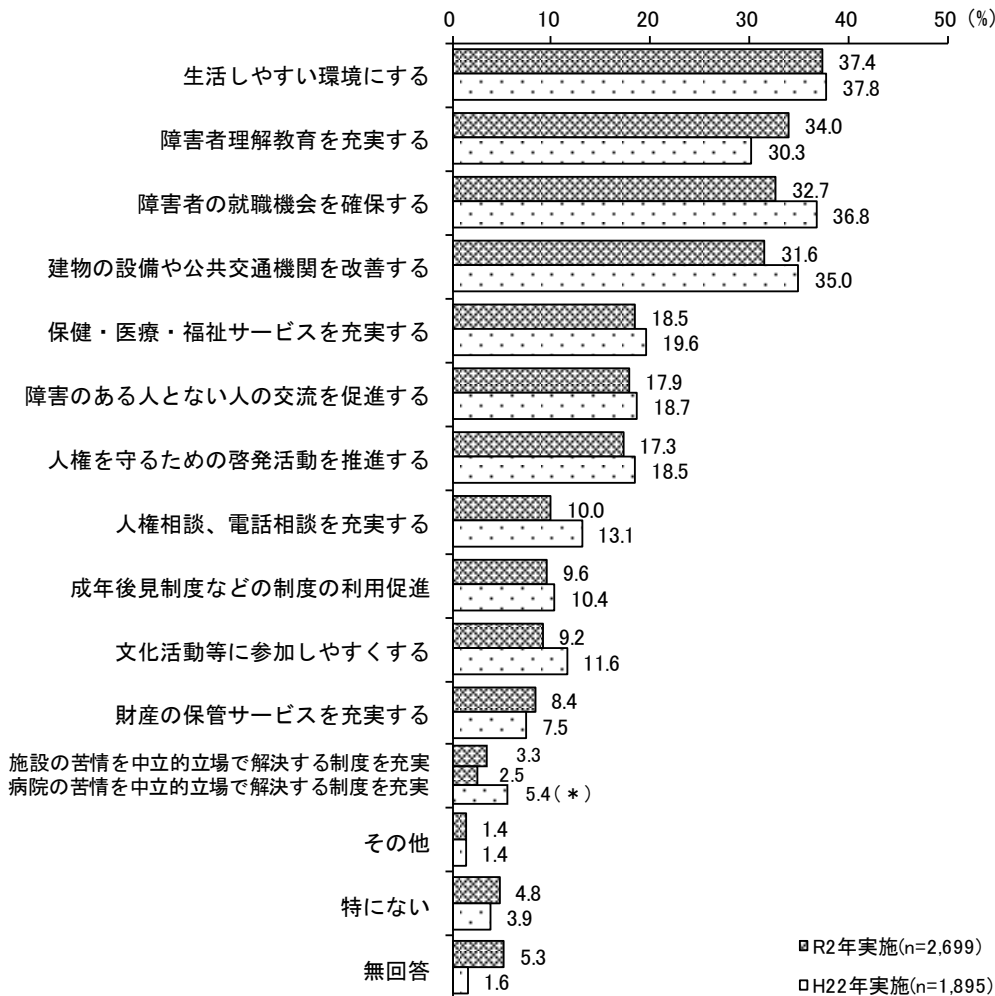
(〇は3つまで)

- 1 障害者の人権を守るための啓発活動を推進する
- 2 障害者のための人権相談、電話相談を充実する
- 3 障害者の就職機会を確保する
- 4 知的障害者等の財産を保全するため、預貯金の出し入れ代行や、預貯金通帳等の財産の保管サービスを充実する
- 5 成年後見制度など、障害のある人の権利と財産を守るための制度の利用促進
- 6 障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する
- 7 障害のある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする
- 8 障害のある人とない人の交流を促進する
- 9 学校教育の中で、障害者理解教育を充実する
- 10 病院についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する
- 11 施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する
- 12 保健・医療・福祉サービスを充実する
- 13 自立を目指す障害者が、生活しやすい環境にする
- 14 その他
- 15 特にない

【県全域／前回との比較】

障害者の人権を守るために必要なこととして、「自立を目指す障害者が、生活しやすい環境にする」が37.4%で最も高く、次いで、「学校教育の中で、障害者理解教育を充実する」が34.0%、「障害者の就職機会を確保する」が32.7%、「障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が31.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「障害者の就職機会を確保する」(36.8%→32.7%)が4.1ポイント減少している。

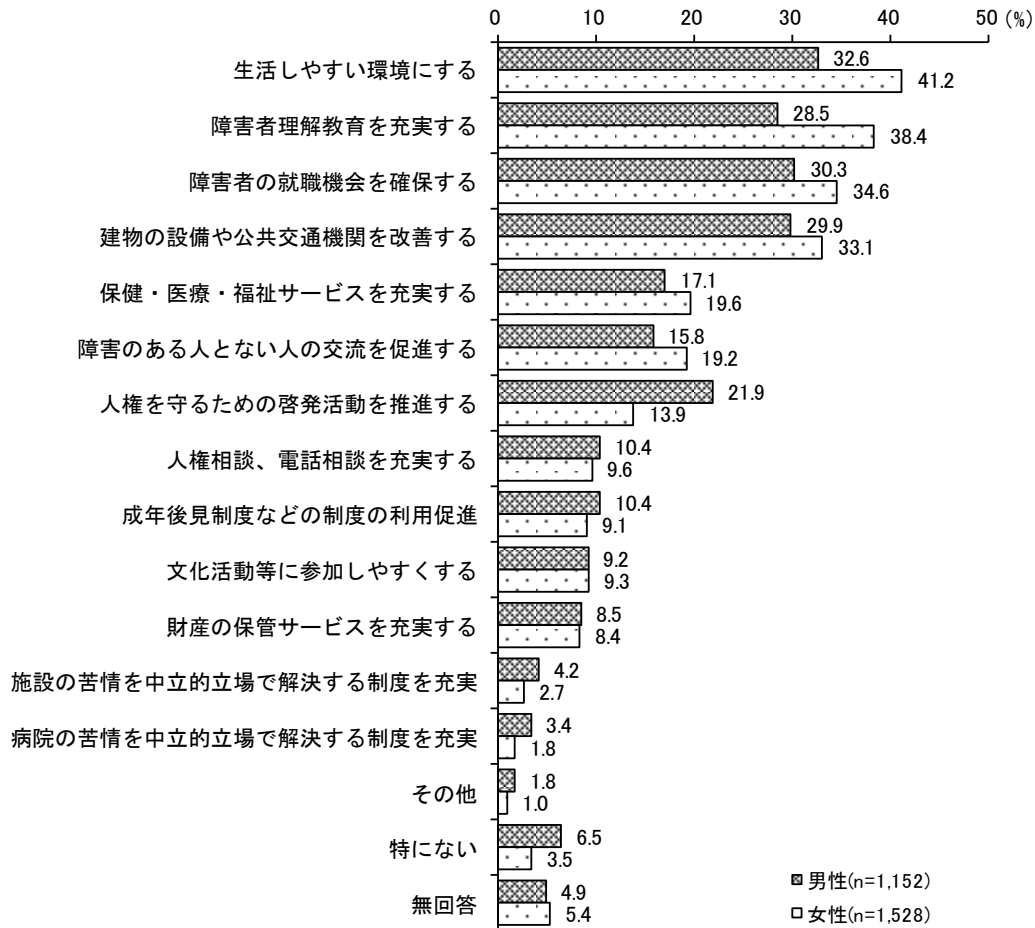


* : H22年は「病院や施設についての苦情を中立的立場で解決する制度を充実する」

II. 調査結果の分析

【性別】

女性は男性よりも「障害者理解教育を充実する」(女性 38.4% 男性 28.5%) が 9.9 ポイント、「生活しやすい環境にする」(女性 41.2% 男性 32.6%) が 8.6 ポイント高く、男性は女性よりも「障害者の人権を守るための啓発活動を推進する」(男性 21.9% 女性 13.9%) が 8.0 ポイント高くなっている。



【年齢別】

20 歳代は「障害者の就職機会を確保する」が、30 歳代は「障害者理解教育を充実する」が、40 歳代以上は「生活しやすい環境にする」が最も高くなっている。

	全体 (人)	生活しやすい環境にする	障害者理解教育を充実する	障害者の就職機会を確保する	建物の設備や公共交通機関を改善する	保健・医療・福祉サービスを充実する	障害のある人とない人の交流を促進する	活動を守るための啓発	人権相談、電話相談を充実する	成年後見制度などの制度の利用促進	文化活動等に参加しやすくする	財産の保管サービスを充実する	現場で解決する中立的立場	施設の苦情を中立的立場で解決する制度を充実	病院の苦情を中立的立場で解決する制度を充実	その他	特になし	無回答
18・19歳	23	39.1	34.8	34.8	47.8	13.0	30.4	39.1	8.7	4.3	8.7	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	
20歳代	272	33.8	32.7	41.9	30.9	16.5	20.6	13.2	6.6	10.3	10.7	7.0	2.9	2.2	1.1	8.5	2.6	
30歳代	449	31.2	38.3	34.3	30.1	18.3	19.8	14.7	8.5	9.6	9.8	8.0	2.9	2.0	2.4	5.3	4.5	
40歳代	612	39.7	37.7	32.7	28.9	16.3	20.9	14.5	6.0	9.6	8.0	10.1	4.4	2.1	1.3	4.6	4.7	
50歳代	571	37.5	35.2	32.0	30.5	21.0	18.7	15.8	8.4	11.0	8.1	7.9	3.2	2.6	1.2	3.5	6.1	
60歳代	455	42.0	27.9	28.6	37.8	21.1	12.5	22.0	14.7	8.8	9.7	9.9	2.6	3.3	1.3	3.5	6.2	
70歳代	274	38.7	29.2	29.9	32.8	16.8	10.9	25.9	19.3	8.4	11.3	5.1	3.3	1.8	0.7	5.5	6.6	
80歳以上	26	38.5	23.1	34.6	30.8	19.2	11.5	15.4	15.4	11.5	11.5	15.4	7.7	7.7	0.0	3.8	3.8	

6 同和問題（部落差別）

◎ 同和問題（部落差別）の解決に対する考え方は「一人ひとりがこの問題の解決に努力すべきだ
と思う」が4割半ばとなっている

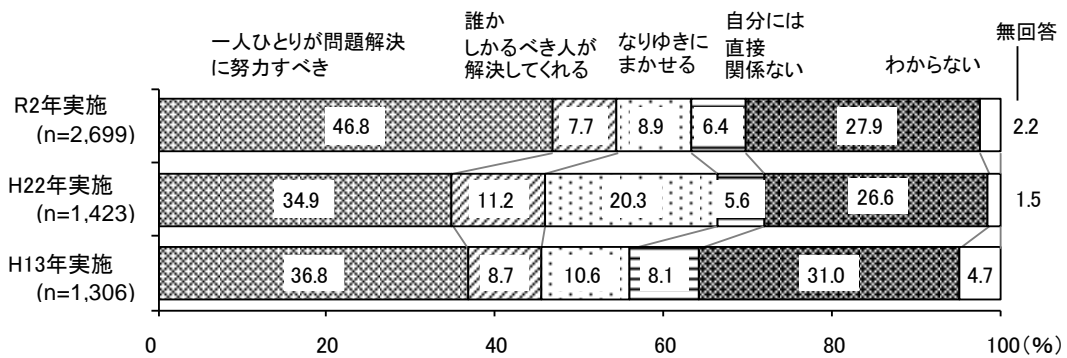
問16. 部落差別のない社会を実現するため、平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」（以下「部落差別解消推進法」という。）が施行されました。同和問題（部落差別）の解決について、あなたはどのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は1つ）

- 1 基本的人権に関わる問題だから、一人ひとりがこの問題の解決に努力すべきだと思う
- 2 基本的人権に関わる問題だが、誰かしかるべき人が解決してくれると思う
- 3 自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う
- 4 自分には直接関係のない問題だと思う
- 5 わからない

【県全域／前回との比較】

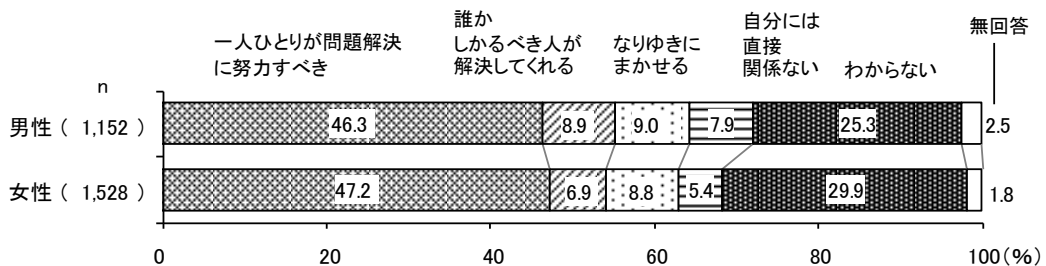
同和問題（部落差別）の解決に対して、「基本的人権に関わる問題だから、一人ひとりがこの問題の解決に努力すべきだと思う」が46.8%で最も高く、次いで、「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」が8.9%と続いている。一方、「わからない」は27.9%となっている。

前回調査と比較すると、「一人ひとりが問題解決に努力すべき」（34.9%→46.8%）が11.9ポイント増加している。



【性別】

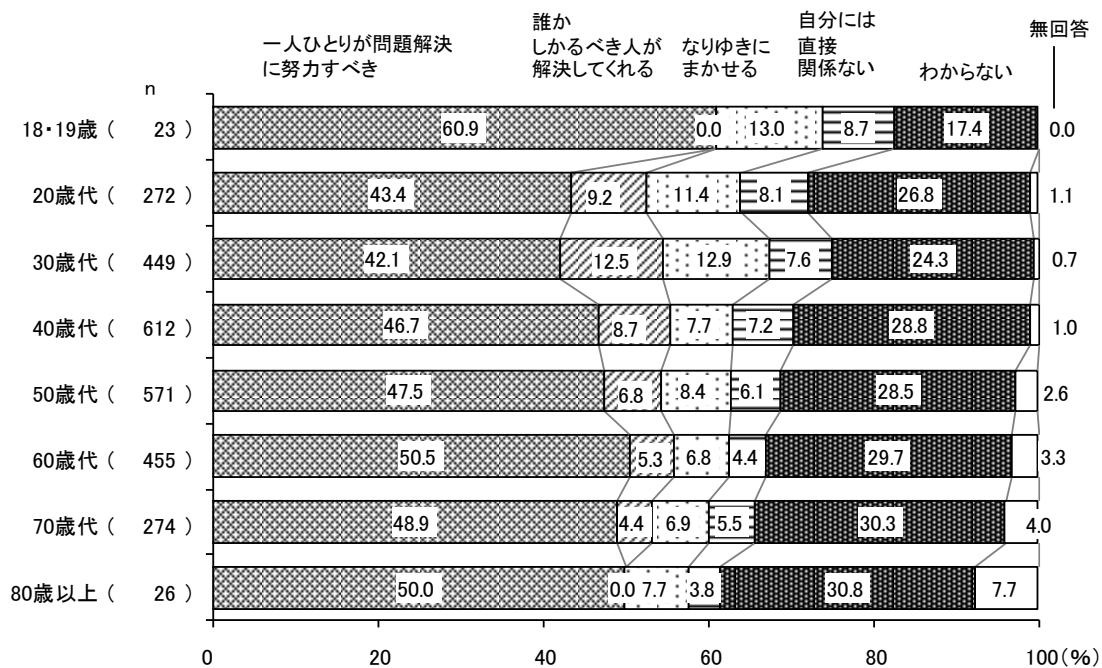
男女ともに「一人ひとりが問題解決に努力すべき」が最も高くなっている。



II. 調査結果の分析

【年齢別】

各年代において「一人ひとりが問題解決に努力すべき」が最も高くなっている。



◎ 同和問題（部落差別）を初めて知ったきっかけは「学校の授業で教わった」が最も高い

問17. あなたは、同和問題（部落差別）について、初めて知ったきっかけは、何からですか。

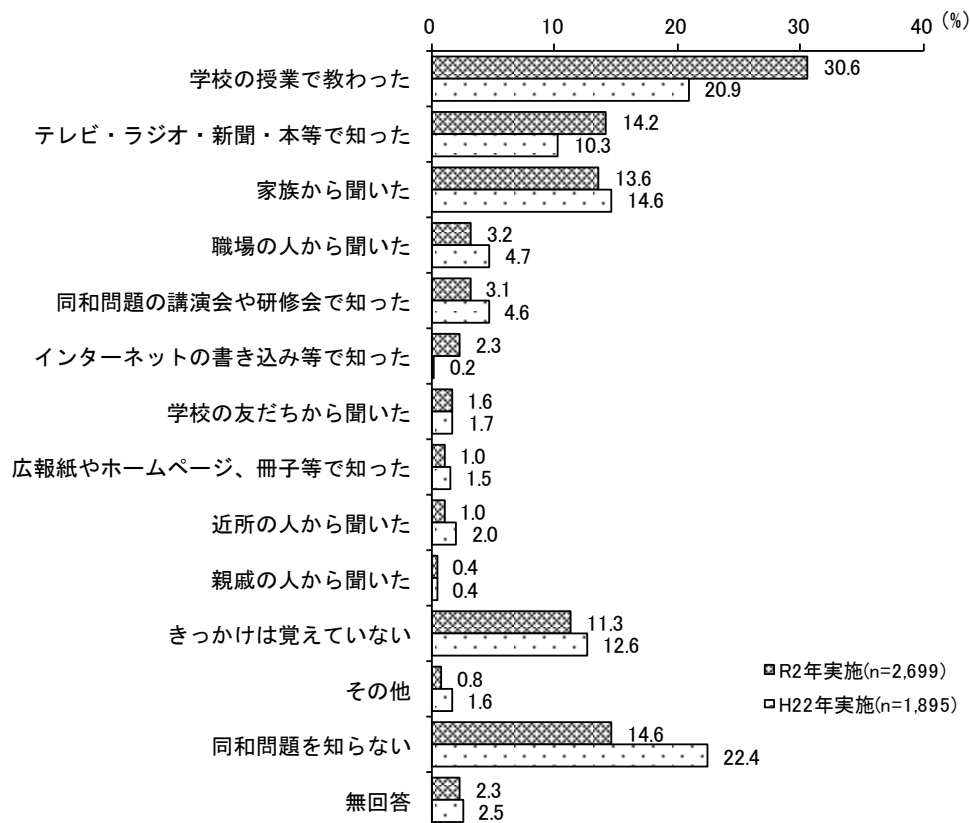
（〇は1つ）

- 1 家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた
- 2 親戚の人から聞いた
- 3 近所の人から聞いた
- 4 職場の人から聞いた
- 5 学校の友だちから聞いた
- 6 学校の授業で教わった
- 7 テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った
- 8 同和問題の講演会や研修会で知った
- 9 都道府県や市区町村の広報誌やホームページ、冊子等で知った
- 10 インターネットの書き込み等で知った
- 11 同和問題は知っているがきっかけは覚えていない
- 12 その他
- 13 同和問題を知らない

【県全域／前回との比較】

同和問題（部落差別）について、初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」が30.6%で最も高く、次いで、「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」が14.2%「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」が13.6%と続いている。また、「同和問題を知らない」は14.6%であった。

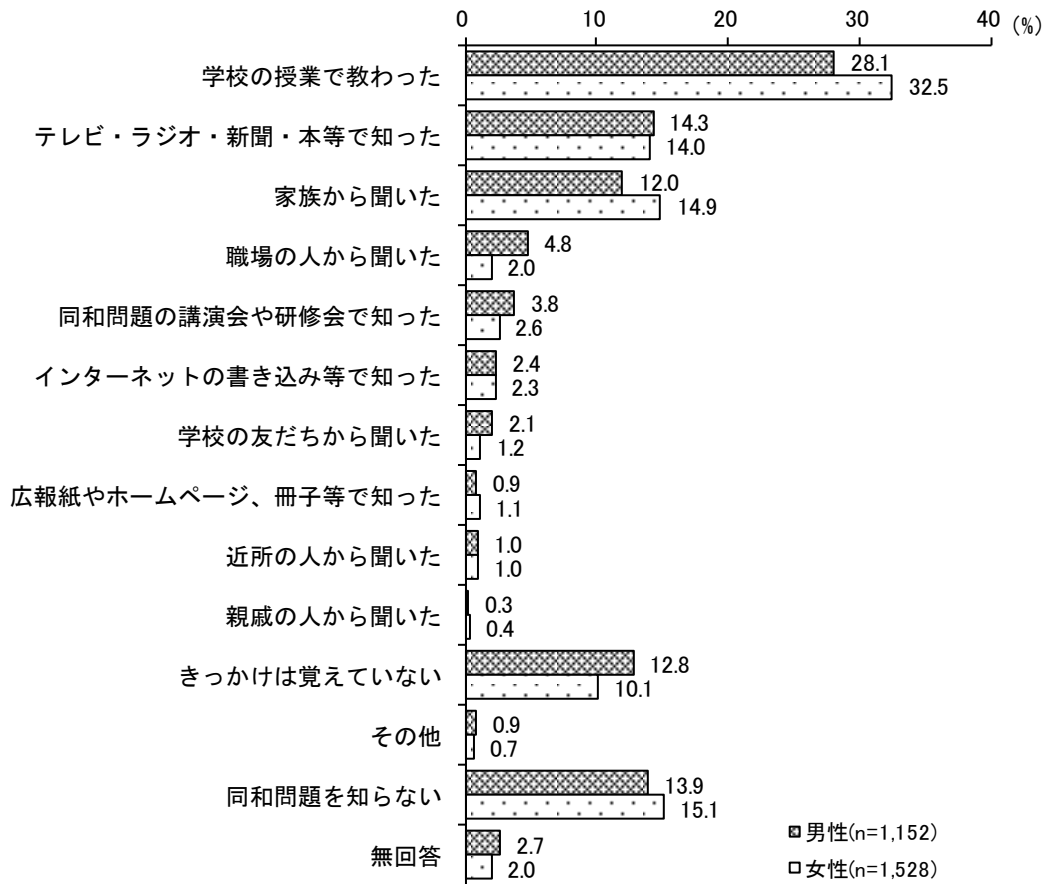
前回調査と比較すると、「学校の授業で教わった」（20.9%→30.6%）が9.7ポイント増加、「同和問題を知らない」（22.4%→14.6%）が7.8ポイント減少している。



II. 調査結果の分析

【性別】

男女ともに「学校の授業で教わった」が最も高くなっている。



【年齢別】

50歳代以下は「学校の授業で教わった」が、60歳代は「家族から聞いた」が、70歳代以上は「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」が最も高くなっている。

	全体 (人)	学校の授業で教わった	テレビ・本等で知った・新聞	家族から聞いた	職場の人から聞いた	同和問題の講演会や研修会で知った	インターネットの書き込み等で知った	学校の友だちから聞いた	広報紙やホームページで知った	近所の人から聞いた	親戚の人から聞いた	きっかけは覚えていない	その他	同和問題を知らない	無回答
18・19歳	23	34.8	8.7	4.3	0.0	4.3	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	30.4	0.0
20歳代	272	32.4	11.8	12.1	1.5	1.8	7.0	0.4	0.7	0.0	0.0	7.0	0.0	23.9	1.5
30歳代	449	39.2	11.8	9.1	2.0	0.9	5.8	0.7	0.2	0.9	0.0	7.6	0.4	20.0	1.3
40歳代	612	42.6	10.9	12.9	2.1	1.3	2.0	2.0	1.0	0.0	0.5	8.8	0.8	13.6	1.5
50歳代	571	35.9	14.2	12.6	4.6	2.3	0.5	1.2	0.7	0.7	0.0	13.1	0.7	10.5	3.0
60歳代	455	17.1	14.9	17.6	4.8	6.6	0.2	3.1	1.5	1.1	0.9	15.2	1.3	11.9	3.7
70歳代	274	2.2	24.8	19.7	4.4	7.3	0.0	2.2	2.6	4.0	1.1	17.2	1.5	10.9	2.2
80歳以上	26	7.7	30.8	19.2	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	11.5	7.7

◎ 同和問題（部落差別）に関して起きている問題は「結婚・交際で周囲が反対すること」が約5割と最も高くなっている

【問17で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

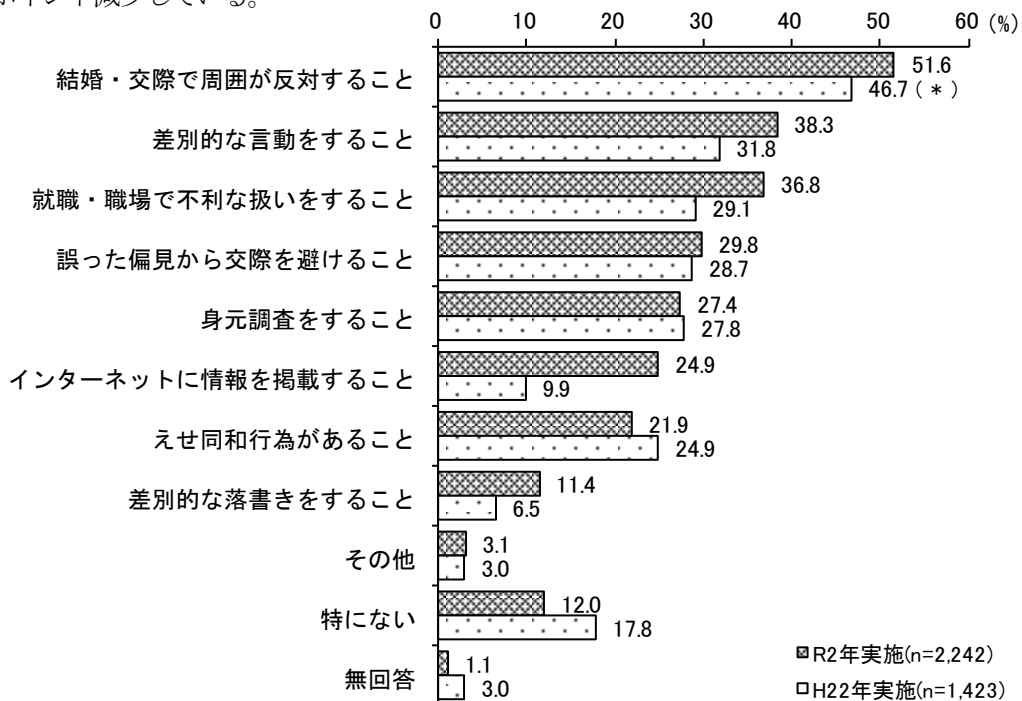
問18 あなたは同和問題（部落差別）に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。（該当するものすべてに○）

- 1 結婚・交際で周囲が反対すること
- 2 就職・職場で不利な扱いをすること
- 3 差別的な言動をすること
- 4 差別的な落書きをすること
- 5 身元調査をすること
- 6 インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること
- 7 誤った偏見から交際を避けること
- 8 えせ同和行為があること
- 9 その他
- 10 特にない

【県全域／前回との比較】

同和問題を知っている 2,242 人に起きている問題を聞いたところ、「結婚・交際で周囲が反対すること」が 51.6%で最も高く、次いで、「差別的な言動をすること」が 38.3%、「就職・職場で不利な扱いをすること」が 36.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「インターネットに情報を掲載すること」(9.9%→24.9%) が 15.0 ポイント、「差別的な言動をすること」(31.8%→38.3%) が 6.5 ポイント増加、「特にない」(17.8%→12.0%) が 5.8 ポイント減少している。

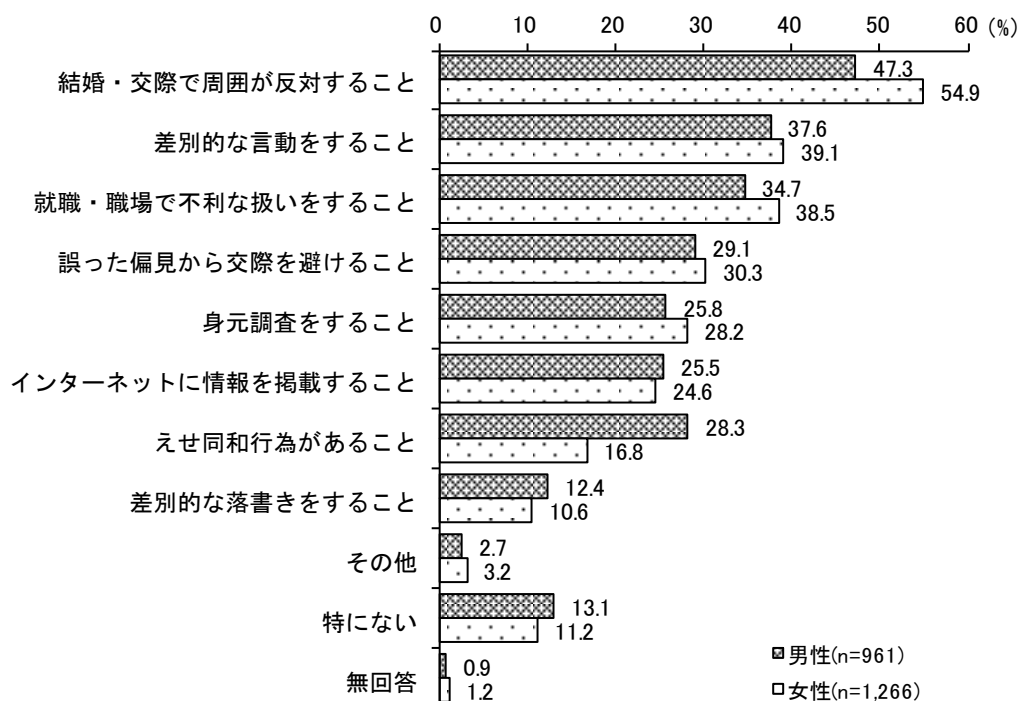


* : H22 年は「結婚で周囲が反対すること」

II. 調査結果の分析

【性別】

男性は女性よりも「えせ同和行為があること」（男性 28.3% 女性 16.8%）が 11.5 ポイント高く、女性は男性よりも「結婚・交際で周囲が反対すること」（女性 54.9% 男性 47.3%）が 7.6 ポイント高くなっている。



【年齢別】

30 歳代以上は「結婚・交際で周囲が反対すること」が最も高く、20 歳代は「差別的な言動をすること」が最も高くなっている。

	全体 (人)	結婚・交 際で周 囲が反 対する こと	と差 別的 な言 動を する こ と	い 就 職 す る こ と	就 職 す る こ と	誤 り を し る こ と	身 元 調 査 を す る こ と	と え せ 同 和 行 為 が あ る こ と	を 掲 載 す る こ と	を 掲 載 す る こ と	こ と	差 別 的 な 落 書 き を す る こ と	そ の 他	特 に な い	無 回 答
18・19歳	16	62.5	62.5	68.8	43.8	12.5	37.5	12.5	18.8	0.0	12.5	0.0			
20歳代	203	50.7	56.7	37.4	32.5	22.7	30.5	19.7	19.2	1.0	7.9	0.0			
30歳代	353	55.8	40.5	39.9	34.8	24.6	29.7	19.3	15.0	4.0	11.3	0.8			
40歳代	520	54.8	39.8	37.9	30.4	27.3	27.7	23.7	11.7	3.5	10.0	0.4			
50歳代	494	51.8	35.8	38.7	28.7	30.6	24.1	22.9	9.7	3.4	10.9	0.8			
60歳代	384	47.9	34.4	35.9	29.2	28.4	22.7	26.0	10.2	3.1	13.3	1.3			
70歳代	238	44.1	26.9	26.1	21.0	26.9	12.6	15.5	4.2	2.5	19.3	3.8			
80歳以上	21	47.6	38.1	23.8	23.8	23.8	14.3	9.5	4.8	0.0	33.3	4.8			

◎ 同和地区出身者とは「これまでと同じように親しく付き合っていく」が約8割となっている

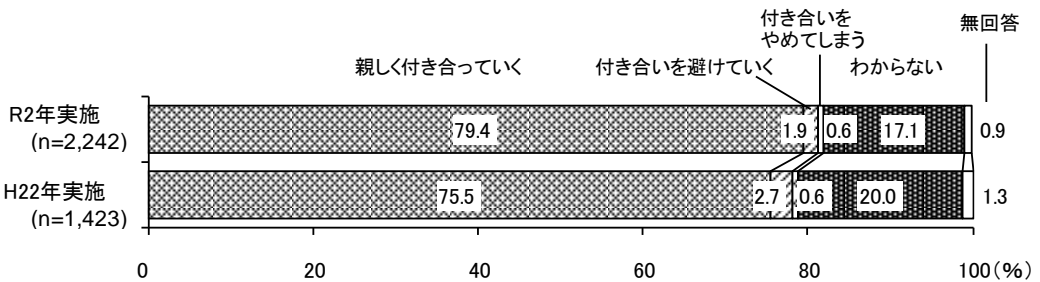
【問17で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】
 問19 仮にあなたが親しく付き合っていた人（職場の人や近所の人）が「同和地区」出身の人であるとわかった場合、どうだと思いますか。（○は1つ）

1 これまでと同じように親しく付き合っていく 3 付き合いをやめてしまうと思う
 2 できるだけ付き合いを避けていくと思う 4 わからない

【県全域／前回との比較】

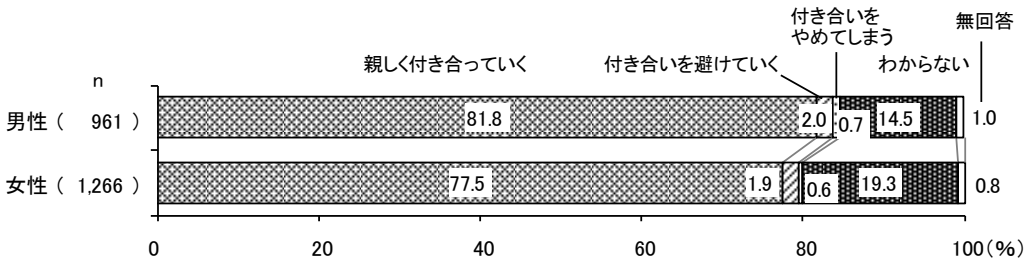
同和問題を知っている 2,242 人に親しく付き合っていた人が同和地区出身者だった場合の対応を聞いたところ、「これまでと同じように親しく付き合っていく」が最も高く 79.4%となっている。

前回調査と比較すると、「親しく付き合っていく」(75.5%→79.4%) が 3.9 ポイント増加している。



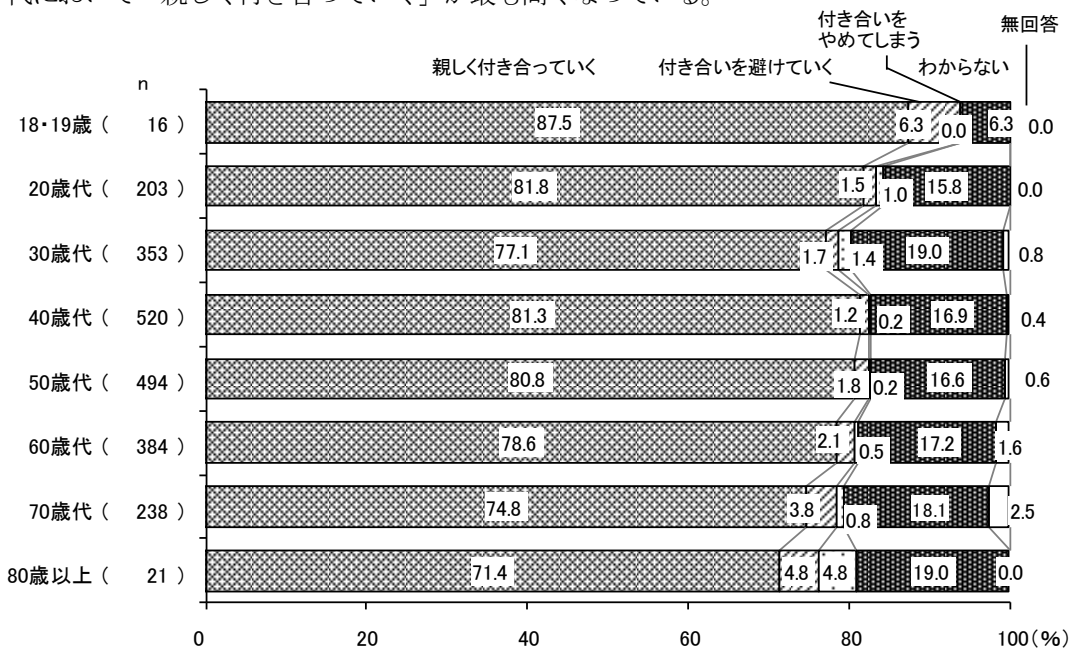
【性別】

男性は女性よりも「親しく付き合っていく」(男性 81.8% 女性 77.5%) が 4.3 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「親しく付き合っていく」が最も高くなっている。



◎ 子どもの結婚相手が同和地区出身だった場合は「子どもの意思を尊重する」が約6割となっている

【問17で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

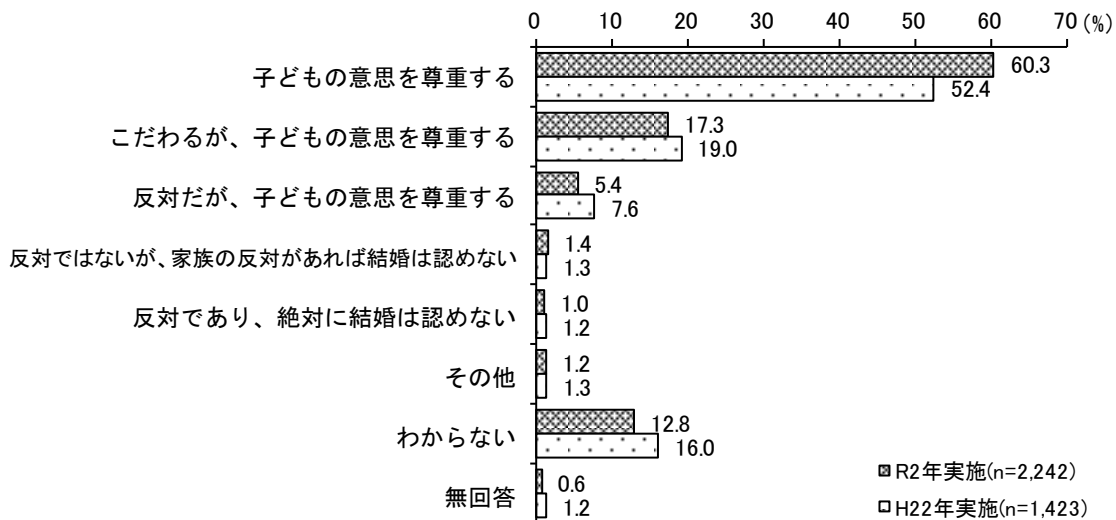
問20 あなたに未婚のお子さんがいるとして、そのお子さんの結婚相手が「同和地区」出身であるとわかった場合、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

- 1 子どもの意思を尊重する
- 2 ややこだわりがあるが、子どもの意思を尊重する
- 3 反対だが、子どもの意思が強ければ尊重する
- 4 反対ではないが、家族や親せきの反対があれば結婚は認めない
- 5 反対であり、絶対に結婚は認めない
- 6 その他
- 7 わからない

【県全域/前回との比較】

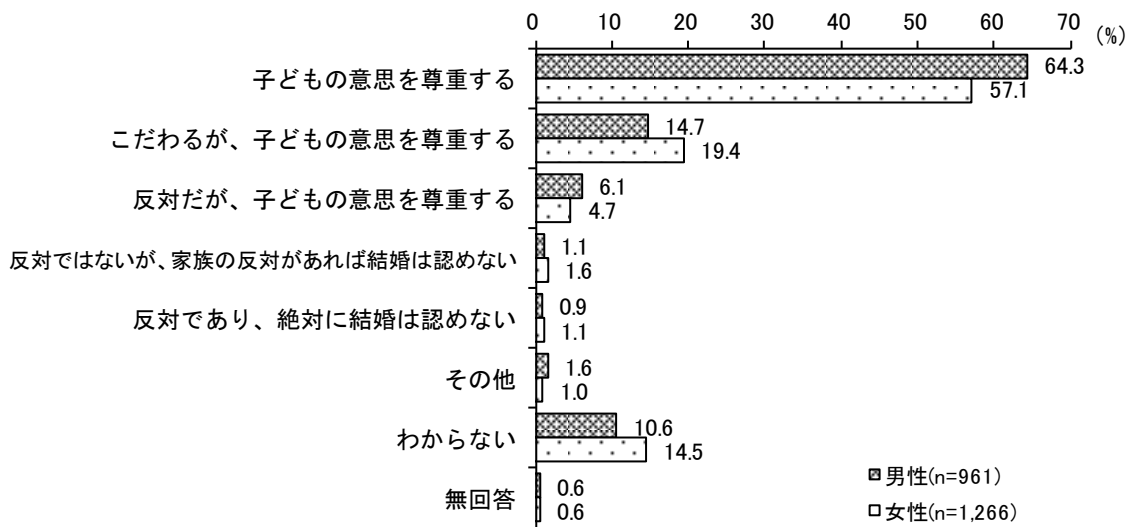
同和問題を知っている 2,242 人に自分の子どもの結婚相手が同和地区出身者だった場合の対応を聞いたところ、「子どもの意思を尊重する」が 60.3%で最も高くなっている。「ややこだわりがあるが、子どもの意思を尊重する」(17.3%) と合わせると、77.6%の人が《子どもの意思を尊重する》との意見であった。一方、「わからない」は12.8%となっている。

前回調査と比較すると、「子どもの意思を尊重する」(52.4%→60.3%) が 7.9 ポイント増加している。



【性別】

男女ともに「子どもの意思を尊重する」(男性 64.3% 女性 57.1%) が最も高く、また、男性は女性よりも7.2ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「子どもの意思を尊重する」の割合が高く、特に20歳代では70.0%となっている。

	全体 (人)	子どもの意思を尊重する (%)	こだわるが、子どもの意思を尊重する (%)	反対だが、子どもの意思を尊重する (%)	認めないが、結婚は家族は (%)	反対ではないが、絶対に結婚は認めない (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
18・19歳	16	68.8	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
20歳代	203	70.0	12.3	3.4	2.0	0.0	0.0	12.3	0.0
30歳代	353	60.3	14.4	5.1	2.3	0.8	2.3	14.2	0.6
40歳代	520	63.7	13.8	4.4	0.8	1.0	2.1	14.2	0.0
50歳代	494	58.9	17.6	5.3	1.6	1.6	0.8	13.8	0.4
60歳代	384	57.0	23.2	5.7	1.0	1.6	1.0	9.4	1.0
70歳代	238	51.3	23.5	9.2	0.4	0.4	0.4	12.6	2.1
80歳以上	21	66.7	19.0	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0

◎ 同和問題（部落差別）の解決に必要なことは「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」「部落差別解消推進法の目的や基本理念の理解を促進する」が高くなっている

【問17で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

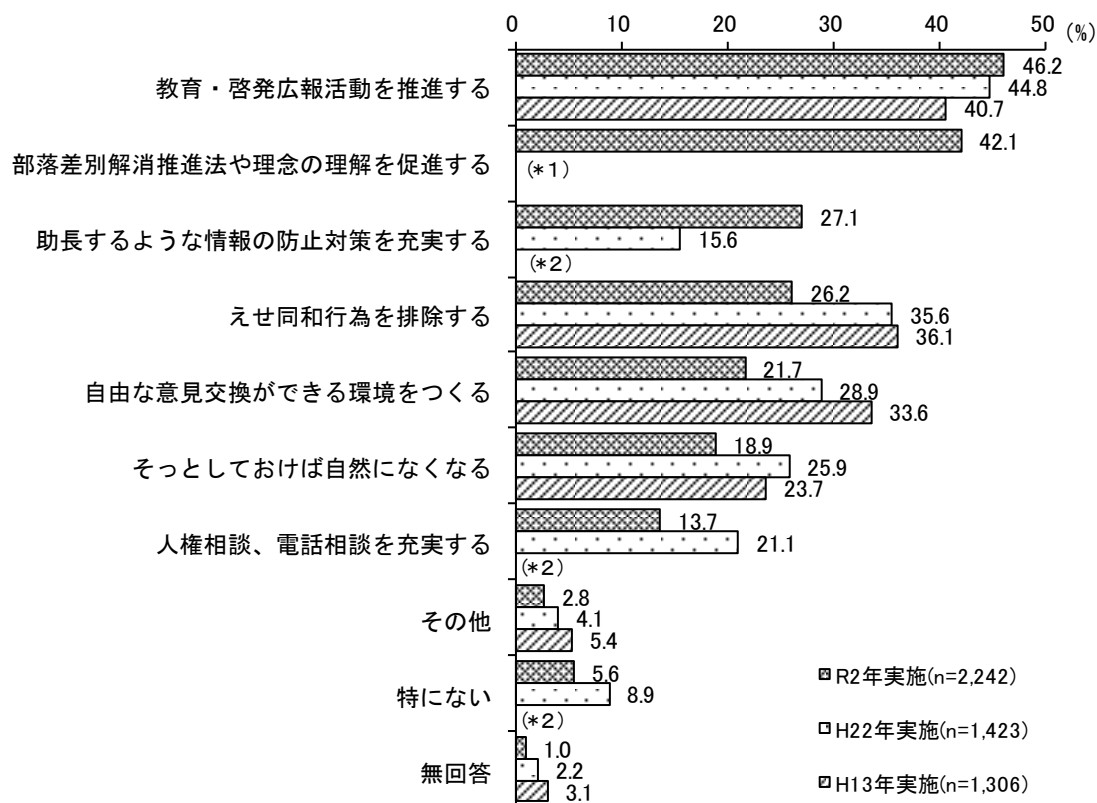
問21. あなたは、同和問題（部落差別）を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 部落差別解消推進法の目的や基本理念の理解を促進する
- 2 同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する
- 3 同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する
- 4 えせ同和行為を排除する
- 5 同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる
- 6 インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する
- 7 同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる
- 8 その他
- 9 特にない

【県全域／前回との比較】

同和問題を知っている 2,242 人に同和問題の解決のために必要なことを聞いたところ、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が 46.2%で最も高くなっている。次いで、「部落差別解消推進法の目的や基本理念の理解を促進する」が 42.1%、「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が 27.1%、と続いている。

前回調査と比較すると、「助長するような情報の防止対策を充実する」(15.6%→27.1%)が 11.5 ポイント増加、「えせ同和行為を排除する」(35.6%→26.2%)が 9.4 ポイント減少している。

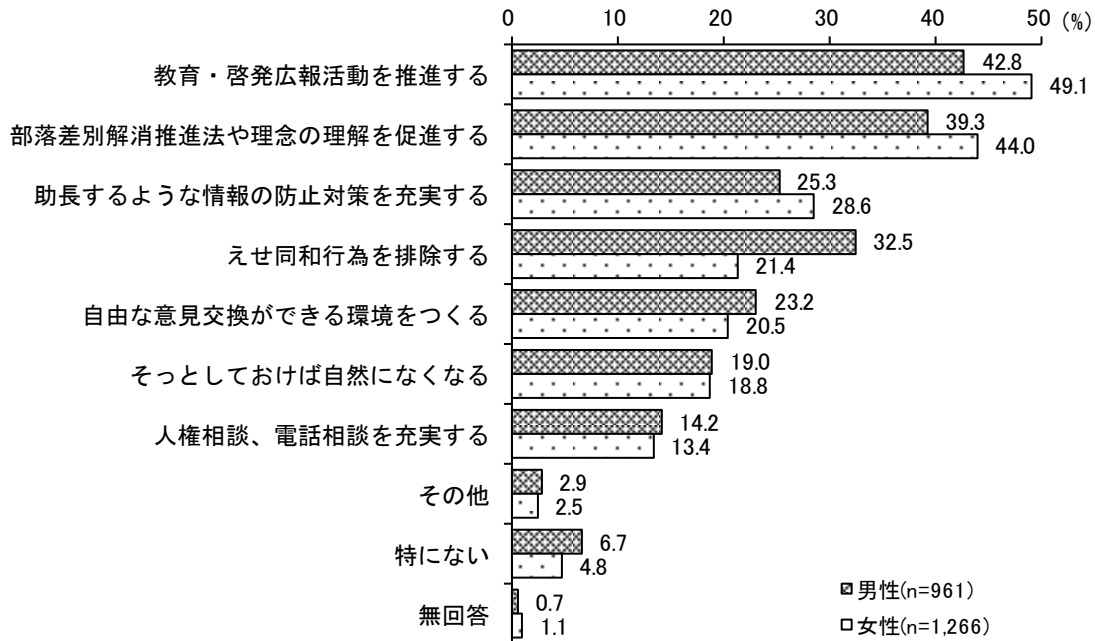


(*1) R2に追加した選択肢

(*2) H22に追加した選択肢

【性別】

男性は女性より「えせ同和行為を排除する」（男性 32.5% 女性 21.4%）が 11.1 ポイント高く、女性は男性より「教育・啓発広報活動を推進する」（女性 49.1% 男性 42.8%）が 6.3 ポイント高くなっている。



【年齢別】

各年代において「教育・啓発広報活動を推進する」が 40%を超え高くなっている。20 歳代は「部落差別解消推進法や理念の理解を促進する」が最も高くなっている。

	全体 (人)	教育・啓発 広報活動を 推進する	部落差別 解消推進法 や理念の理 解を促進す る	助長するよ うな情報の 防止対策を 充実する	えせ同和 行為を排除 する	自由な意見 交換ができ る環境をつ くる	そっとして おけば自然 になくなる	人権相談、 電話相談を 充実する	その他	特にない	無回答
18・19歳	16	50.0	43.8	31.3	18.8	18.8	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0
20歳代	203	43.3	44.8	31.0	19.2	23.6	18.2	14.3	1.0	4.9	0.0
30歳代	353	47.6	45.6	30.9	22.9	17.0	18.4	9.1	3.7	5.1	0.6
40歳代	520	46.5	40.4	30.4	29.0	16.7	19.4	10.2	4.2	4.4	0.8
50歳代	494	45.7	41.7	28.3	26.9	21.3	18.6	14.4	2.6	5.1	1.2
60歳代	384	47.1	42.2	24.2	33.1	25.8	14.8	17.2	1.6	7.0	1.6
70歳代	238	45.0	39.1	14.7	19.3	31.9	26.1	20.2	2.1	8.8	0.8
80歳以上	21	57.1	33.3	19.0	14.3	23.8	28.6	19.0	0.0	0.0	4.8